

The background features a white page with three large, overlapping blue circles of varying sizes. Two thin, light blue lines intersect at the top left, forming a large 'V' shape that frames the central text. The circles are composed of concentric rings of different shades of blue, creating a 3D effect.

Kyoai Gakuen University
graduates Research

2018

1. 方 法

1-1) 研究協力者

2019年3月、共愛学園前橋国際大学の4年生200名から有効回答を得た。性別は男性70名、女性128名その他1名であった。

1-2) フェイスシート

フェイスシート項目は学籍番号、性別、コース、所属ゼミのコース、入試形態、特待生について、就職センターについて、KCGについてであった。

1-3) 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感についての項目

本学でのスキル習得感・学生生活の充実感についての質問項目は以下の3項目である。「あなたは本学に入学してから力が身についたと思いますか?」、「あなたの大学生活は充実していたと感じますか?」、「あなたは入学して良かったと思いますか?」。以上それぞれの項目について、1.「とてもそう思う」から5.「全くそう思わない」までの5件法で回答してもらった。

1-4) 共愛コア科目習得感についての項目

共愛コア科目習得感について、「次の質問について、どのくらい身についたと思いますか?」という教示のもと、以下の5項目についてたずねた。「共愛と共生についての知識(人権について、心理学についてなど)」、「グローバルについての知識(異文化について、地域についてなど)」、「情報技術(パソコン、スマートフォン、iPodなどを利用する能力)」、「社会人力(情報技術、コミュニケーション能力など)」、「自分で生きていく力」。以上それぞれの項目について、1.「全く身につかなかった」から5.「とても身についた」までの5件法で回答してもらった。

1-5) 学生生活の満足度についての項目

本学での学生生活の満足度について、「次の質問項目について、どのくらい満足していますか?」という教示のもと、以下の23項目についてたずねた。「授業全体」、「語学授業」、「基礎演習」、「課題演習・卒業研究」、「専門科目(必修・選択必修など)」、「選択科目(個性的選択など)」、「チャペルアワー」、「シャロン祭など学内のイベント」、「図書館」、「食堂」、「コンビニ」、「事務室対応」、「教職員との交流」、「キャンパスの施設や設備」、「大学での友人関係」、「学生のマナー」、「就職支援」、「教職支援(該当する方のみ)」、「資格取得支援」、「大学による学生サポート(奨学金・サークル支援・情報支援、など)」、「ユビキタス・キャンパス(学内でのインターネット環境)」、「KYOAI COMMONS(4号館)」、「共愛学園前橋国際大学という大学に入学したこと」。以上それぞれの項目について、1.「非常に不満」から5.「非常に満足」までの5件法で回答してもらった。

1-6) 社会人基礎力(北島ら, 2011)

卒業時の社会人基礎力について、北島ら(2011)の社会人基礎力尺度を用いて測定した。第一因子:主体性(1.グループでの取り組みで、自分の役割は何かを見極めている、2.困難なことでも自分の強みを生かして取り組んでいる、3.自分の役割や課題に対して自発的自立的に行動している)、第二因子:働きかけ力(4.メンバーの協力を得るために、協力することの必然性や目的を伝えている、5.状況に応じて効果的な協力を得るために、様々な手段を活用している、6.グループの目標を達成するために積極的にメンバーに働きかけている)、第三因子:実行力(7.目標達成に向かって粘り強く取り組み続けている、8.とにかくやってみようとする果敢さを持って課題に取り組んでいる、9.困難な状況から逃げずに目標に向かって取り組み続けている)、第四因子:課題発見力(10.目標達成のために現段階での課題を的確に把握している、11.現状を正しく認識するための情報収集や分析をしている、12.課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている)、第五因子:計画力(13.目標達成までのプロセスを明確化し、実現性の高い計画を立てている、14.目標達成までの計画と実際の進み具合の違いに留意している、15.計画の進み具合や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正している)、第六因子:創造力(16.複数のもの、考え方、技術等を組み合わせ、柔軟に計画を修正している、17.従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出している、

18. 目標達成を意識し、新しいものを生み出すためのヒントを探している)、第七因子：発信力 (19. グループでの取り組みで、メンバーに情報をわかりやすく伝えている、20. メンバーがどのような情報を求めているかを理解して伝えている、21. 話そうとすることを自分なりに理解したうえでメンバーに伝えている)、第八因子：傾聴力 (22. 内容の確認や質問等を行いながら、メンバーの意見を理解している、23. 相槌や共感等により、メンバーに話しやすい状況を作っている、24. 先入観や思い込みをせずに、メンバーの話の聞いている)、第九因子：柔軟性 (25. 自分の意見を持ちながら、メンバーの意見も共感を持って受け入れている、26. なぜそのように考えるのか、メンバーの気持ちになって理解している、27. 立場の異なるメンバーの背景や事情を理解している)、第十因子：状況把握力 (28. 周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動している、29. 自分にできること他のメンバーができることを判断して行動している、30. 周囲の人間関係や忙しさを把握し、状況に配慮した行動をとっている)、第十一因子：規律性 (31. メンバーに迷惑をかけないように、ルールや約束マナーを理解している、32. メンバーに迷惑をかけたとき、適切な事後の対応をしている、33. 規律や礼儀が特に求められる場面では、礼節を守ったふるまいをしている)、第十二因子：ストレスコントロール力 (34. グループでの取り組みでストレスを感じる時、その原因について考えている、35. 人に相談したり、支援を受けたりして、ストレスを緩和している、36. ストレスを感じても、考え方を切り替え、コントロールしている)、の36項目について、1. まったくあてはまらない、2. あてはまらない、3. あまりあてはまらない、4. ややあてはまる、5. よくあてはまる、6. とてもよくあてはまるの6件法で答えてもらった。

1-7) グローカルポイント

グローカルポイントについて、「次の質問について、「まったくあてはまらない」から「とてもよくあてはまる」までの最も当てはまる数字に○をつけてください」という教示のもと、以下の3項目についてたずねた。

「以前よりも、海外を身近に感じるようになった」、「多文化や異文化に関する知識の体系的な理解が深まった」、「以前よりも、群馬を身近に感じるようになった」。以上、それぞれの項目について1. まったくあてはまらない、2. あてはまらない、3. あまりあてはまらない、4. ややあてはまる、5. よくあてはまる、6. とてもよくあてはまるの6件法で答えてもらった。

1-8) 自由記述項目

自由記述項目として、以下の項目に回答してもらった。

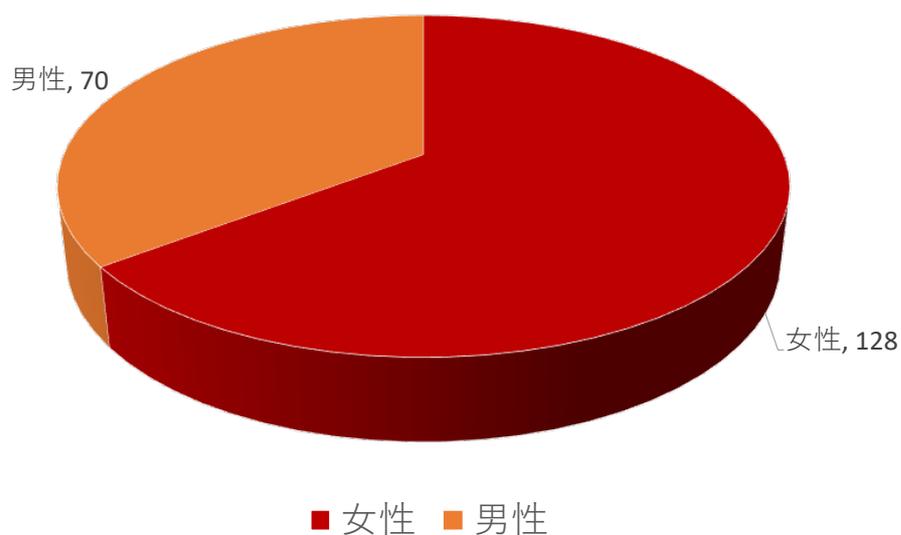
- あなたが、この大学について良いと思う点は何ですか？
- あなたが、この大学に不満を感じていた点は何ですか？
- この大学で4年間を過ごし、あなたが入学前に思っていたイメージとこの大学は違っていましたか、それとも同じでしたか。違ったとすれば何が期待以上だったのか、何が期待はずれだったのかを教えてください。
- この大学の授業の中であなたの印象に残っている授業は何ですか。(※1つでも、3つでも構いません)
- このアンケート結果は教職員全員が見ますので、その他大学に対するご要望・ご意見、教職員へのメッセージがあれば自由にお書きください。
- 大学のアドレス (**@c.kyoai.ac.jp) はもちろん卒業後も一生使えますが、卒業後、大学からのご連絡などに他のメールアドレスを使いたい、という方は以下の欄にメールアドレスをご記入ください。

2. 結果

2-2. フェイスシート

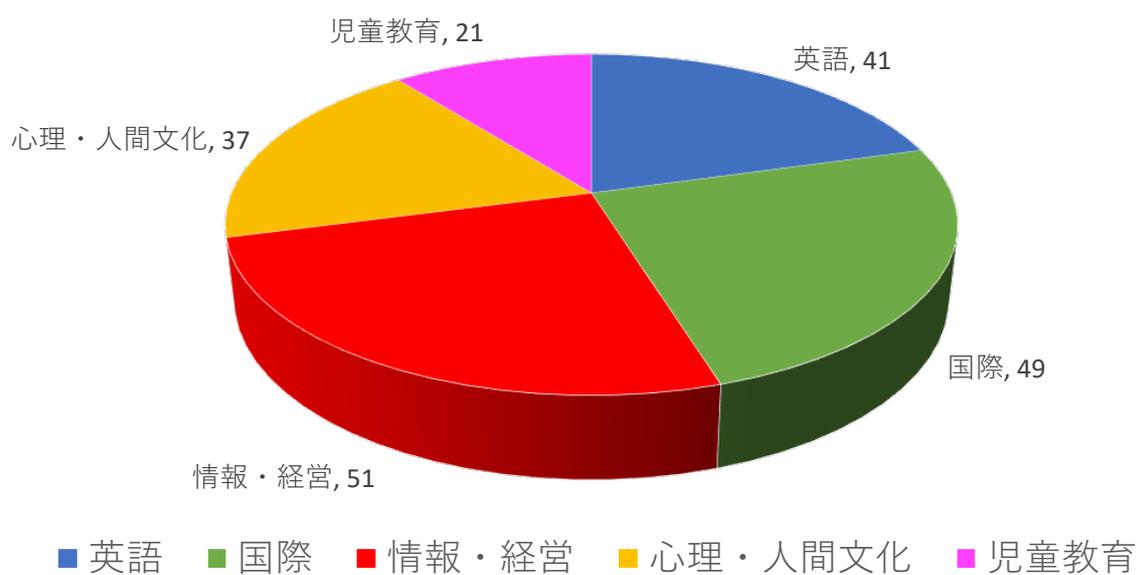
2-1-1. 性別について

性別は、男性70名、女性128名、その他1名であった。



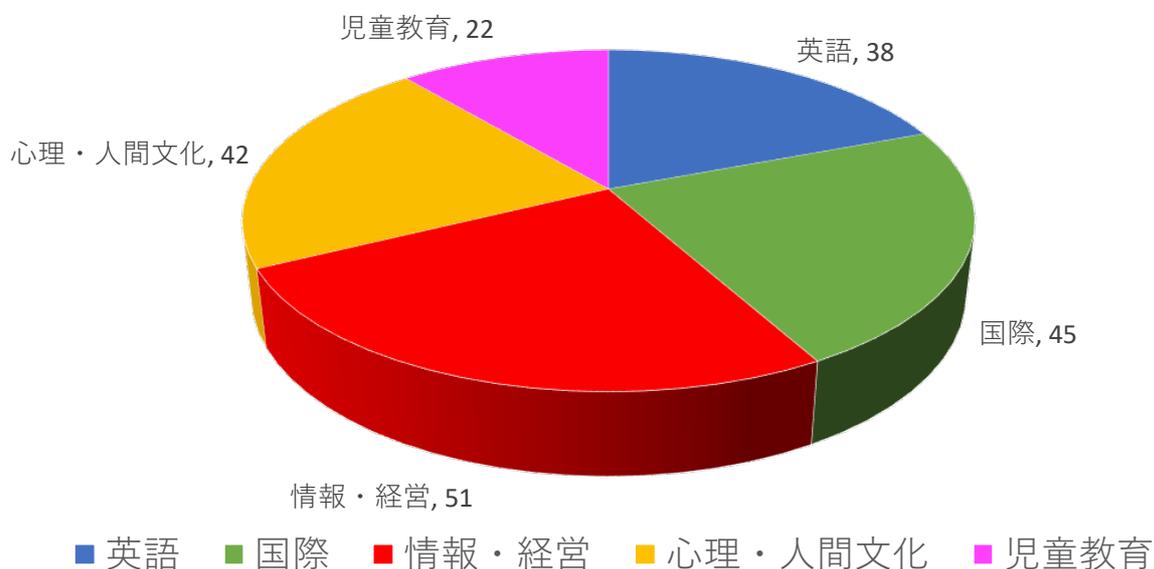
2-1-2. コースについて

コース別回答数は英語41名、国際49名、情報・経営51名、心理・人間文化37名、児童教育21名であった。



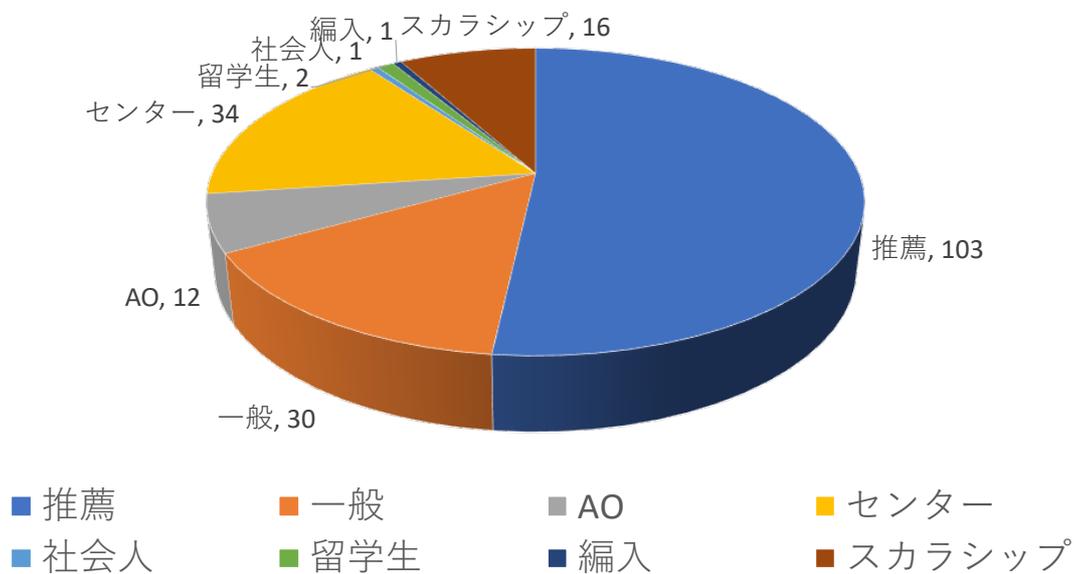
2-1-3. 所属ゼミコースについて

所属ゼミコース別回答数は英語 38 名、国際 45 名、情報・経営 51 名、心理・人間文化 42 名、児童教育 22 名であった。



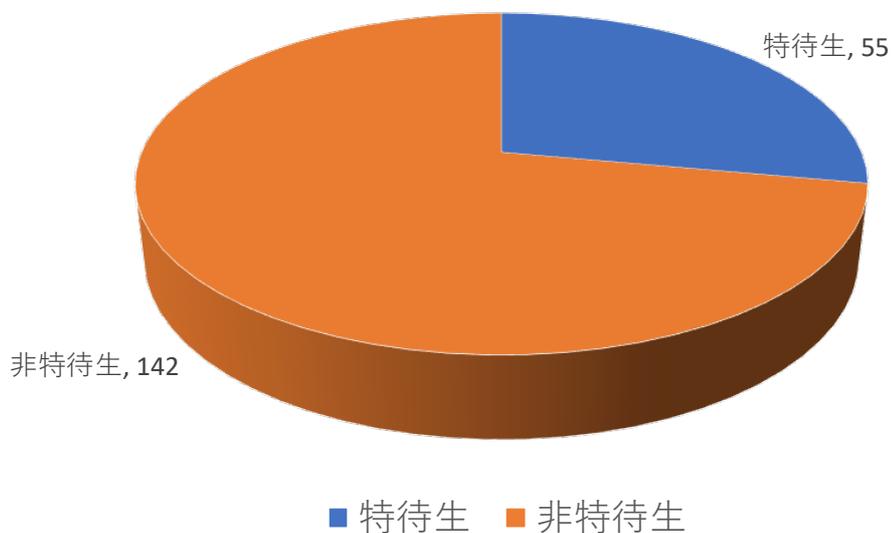
2-1-4. 入試形態について

入試形態は、推薦入試 103 名、一般入試 30 名、AO 入試 12 名、センター入試 34 名、社会人入試 1 名、留学生 2 名、編入 1 名、スカラシップ入試 16 名であった。



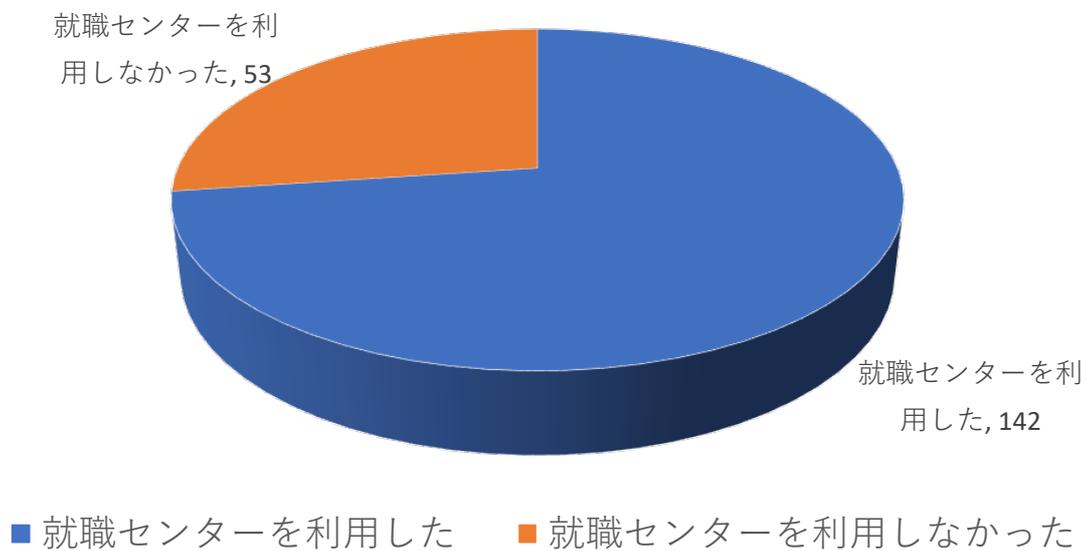
2-1-5. 特待生について

特待生であったものは55名、非特待生であったものは142名であった。



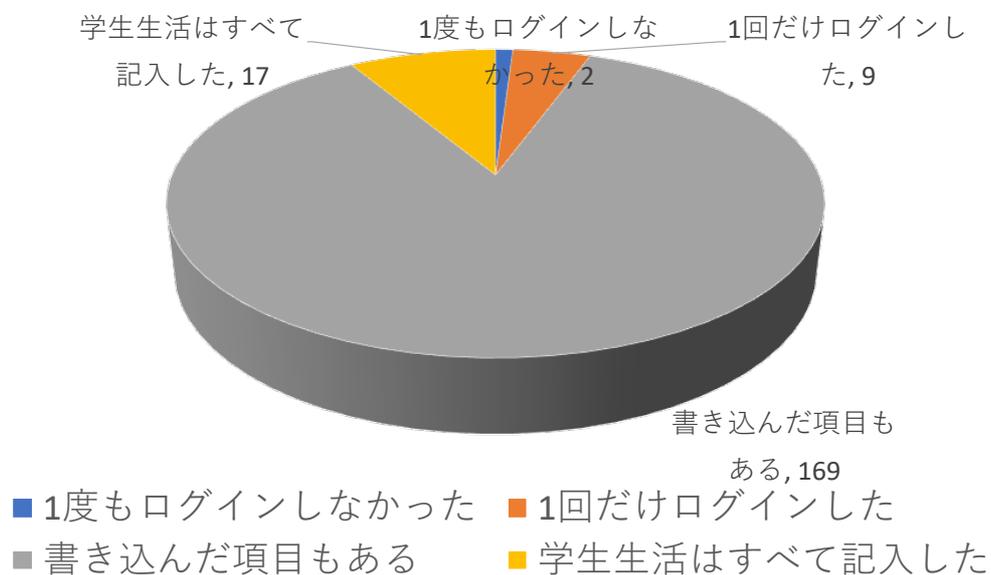
2-1-6. 就職センター利用状況

就職センター利用状況としては、就職センターを利用した卒業生は142名、利用しなかった卒業生は53名であった。



2-1-7. KCG 利用状況

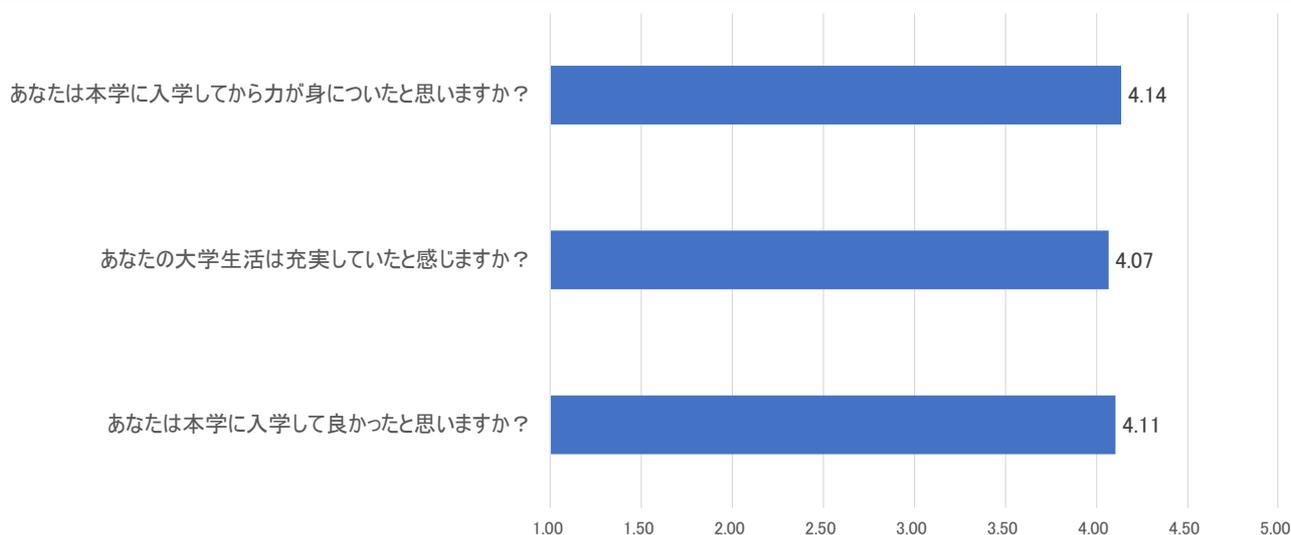
KCG の利用動向としては、1度もログインしなかった卒業生 8 名、1 回だけログインした卒業生 19 名、書き込んだ項目もあるという卒業生が 143 名、学生生活はすべて記入したという卒業生が 10 名であった。



2-2. 全体的傾向について

2-2-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について

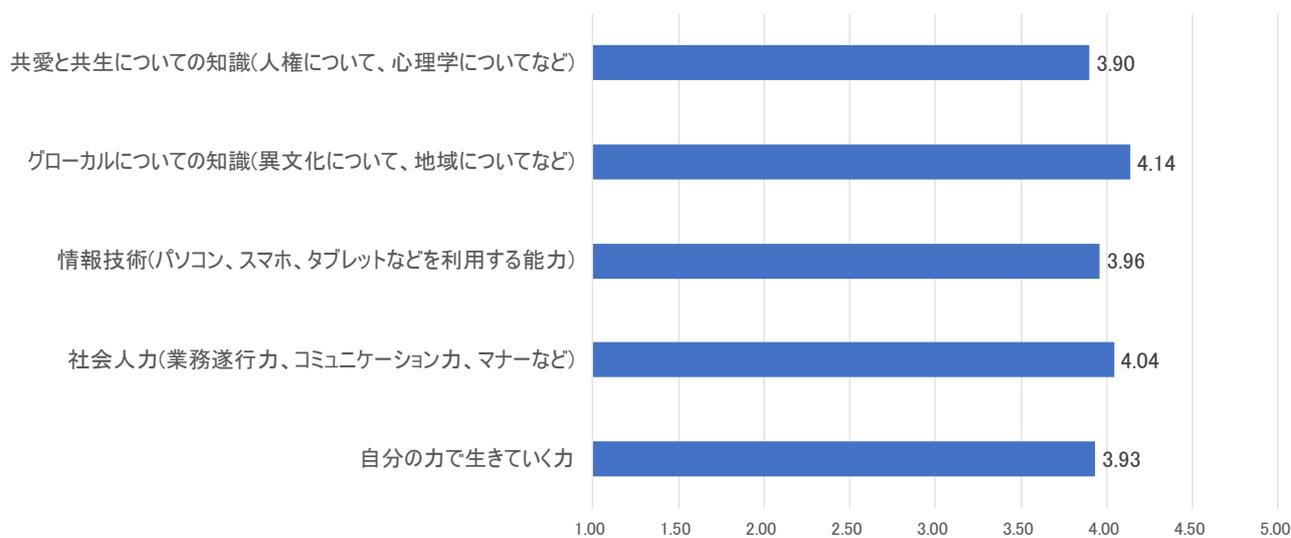
例年同様、今年度も卒業時の満足感が高い



※経年変化については後述

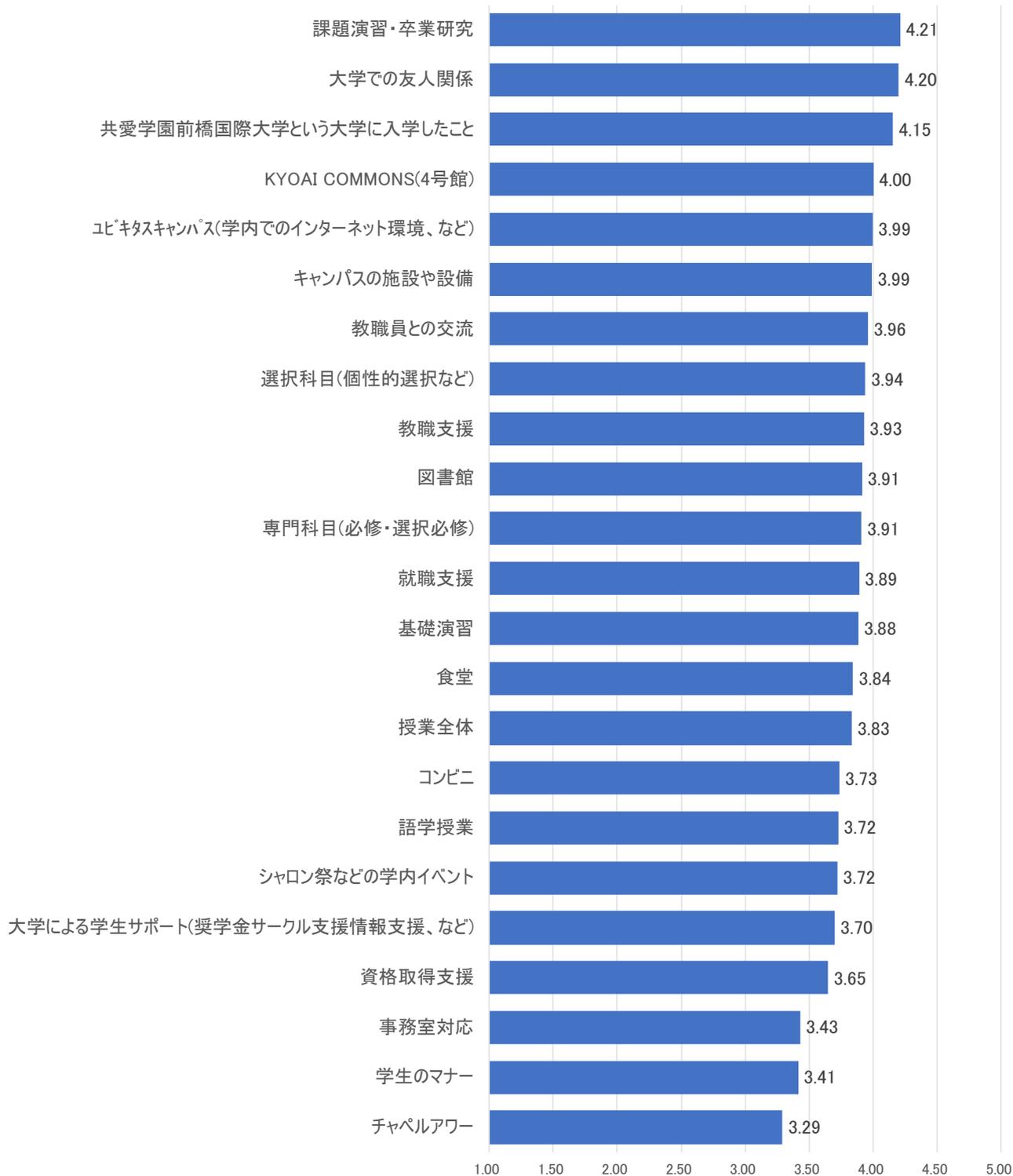
2-2-2. 共愛コア科目習得感について

すべての項目が昨年度より微減



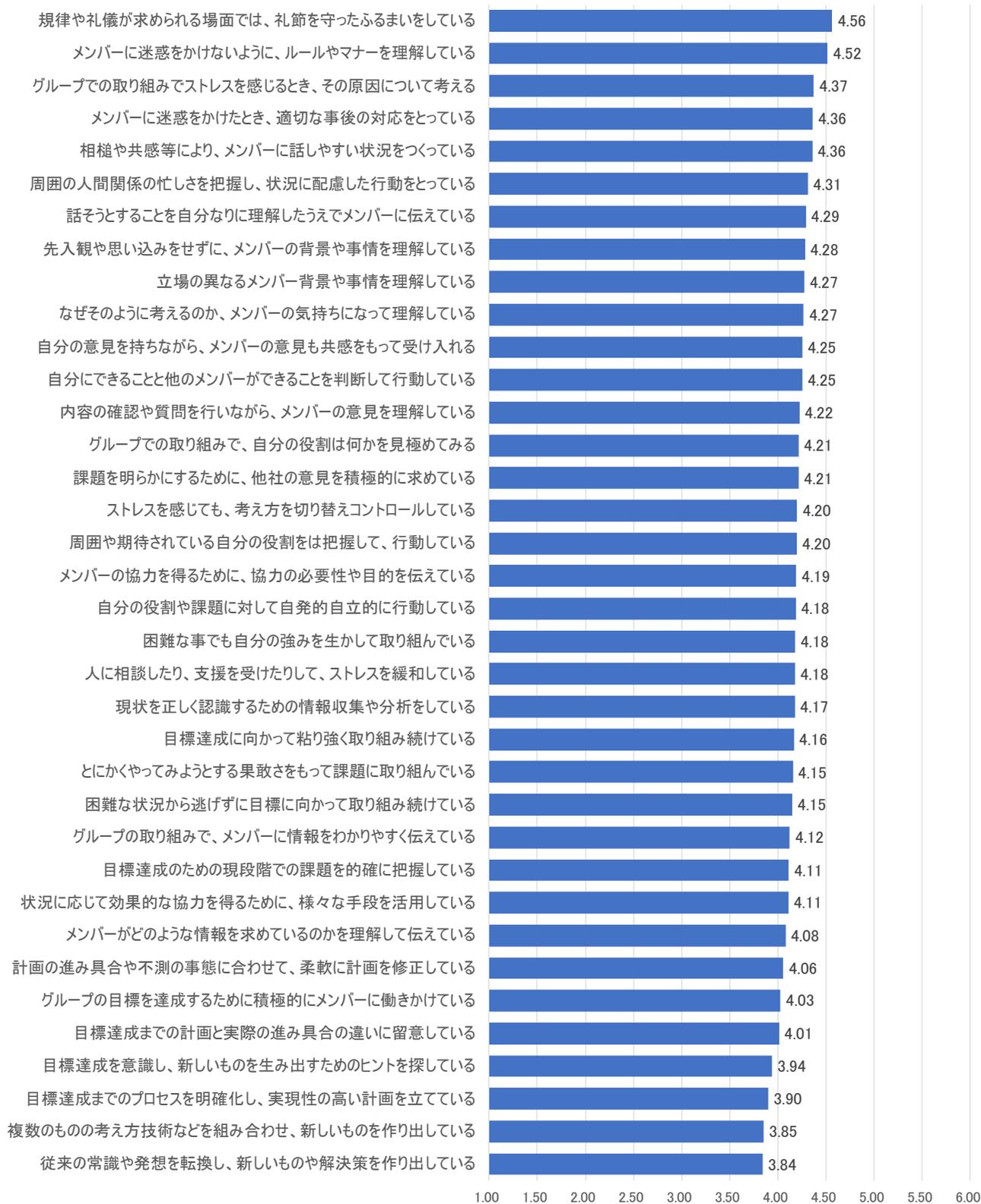
2-2-3. 学生生活の満足度について

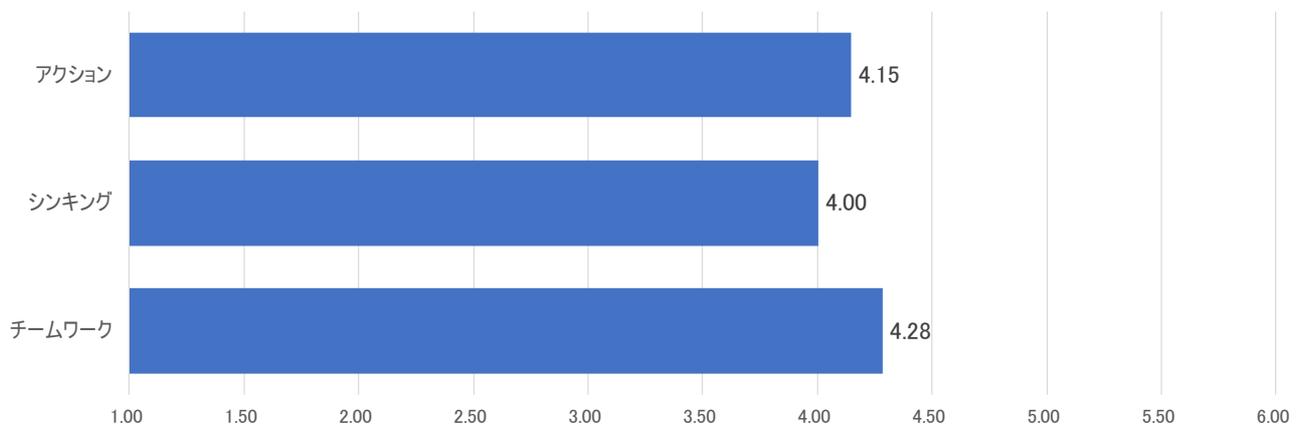
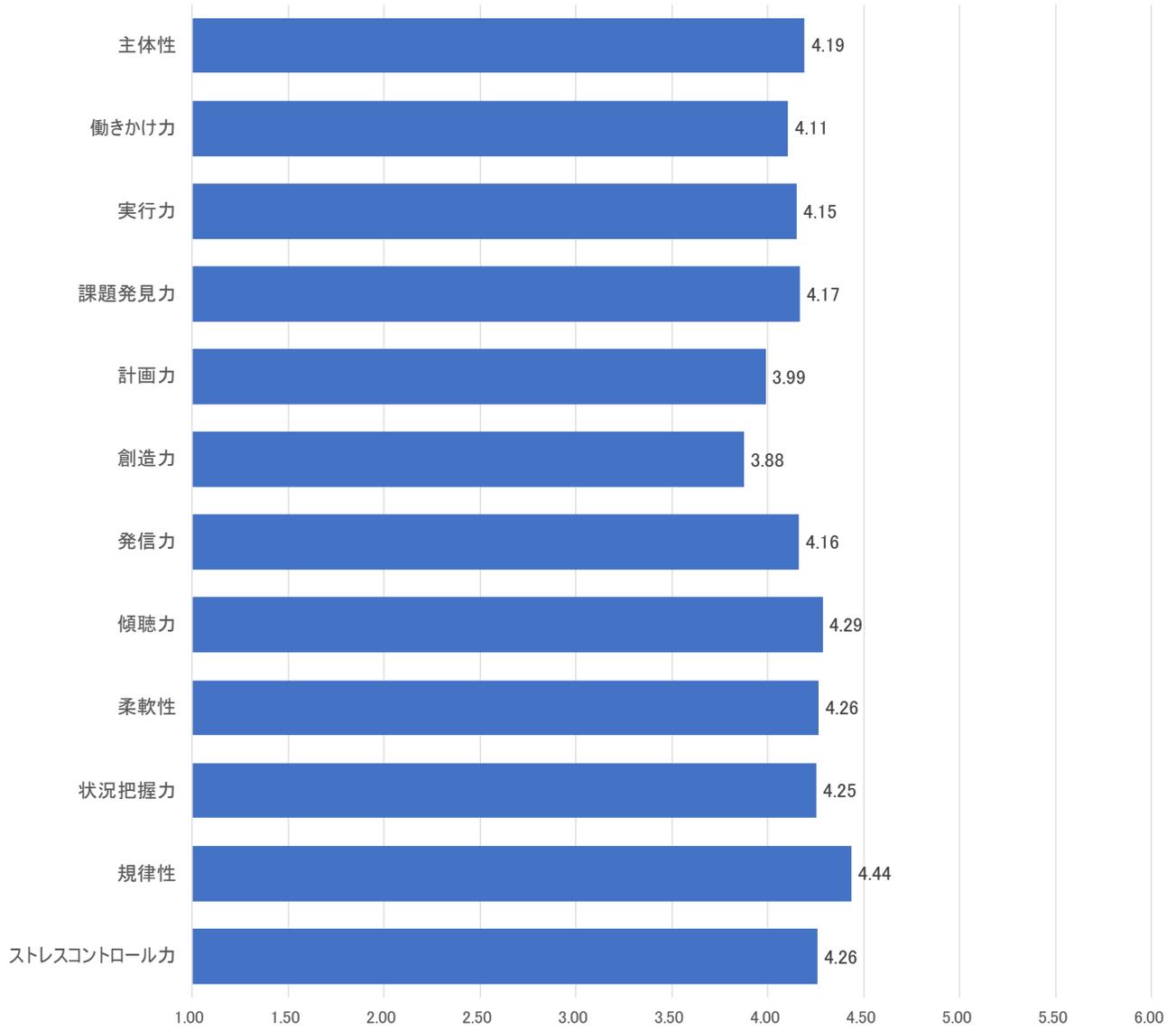
昨年は本学入学がトップ。今年度はゼミに入れ替わった。



2-2-4. 社会人基礎力について

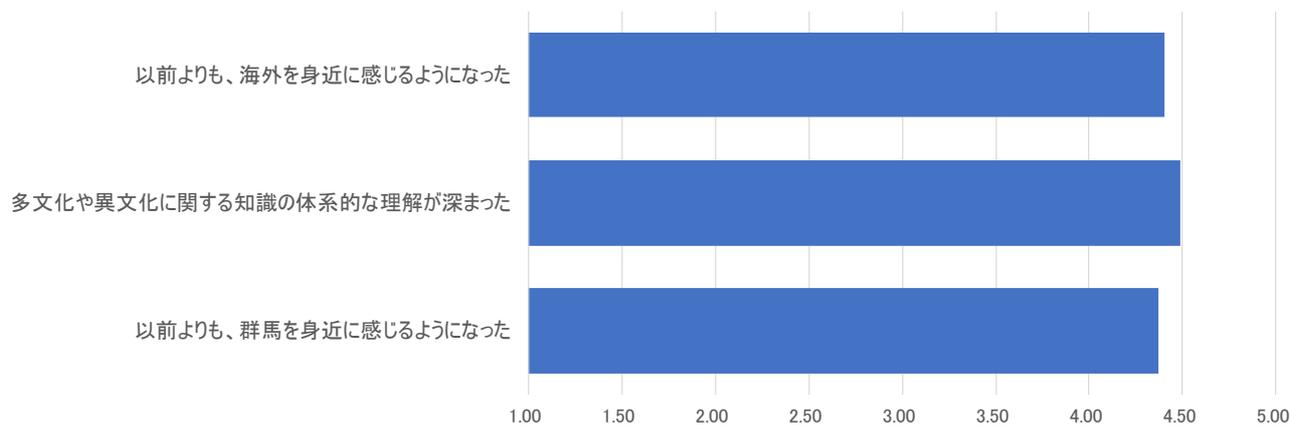
年々、ポイントは低下中





2-2-5. グローカルについて

すべての項目において得点が微減。

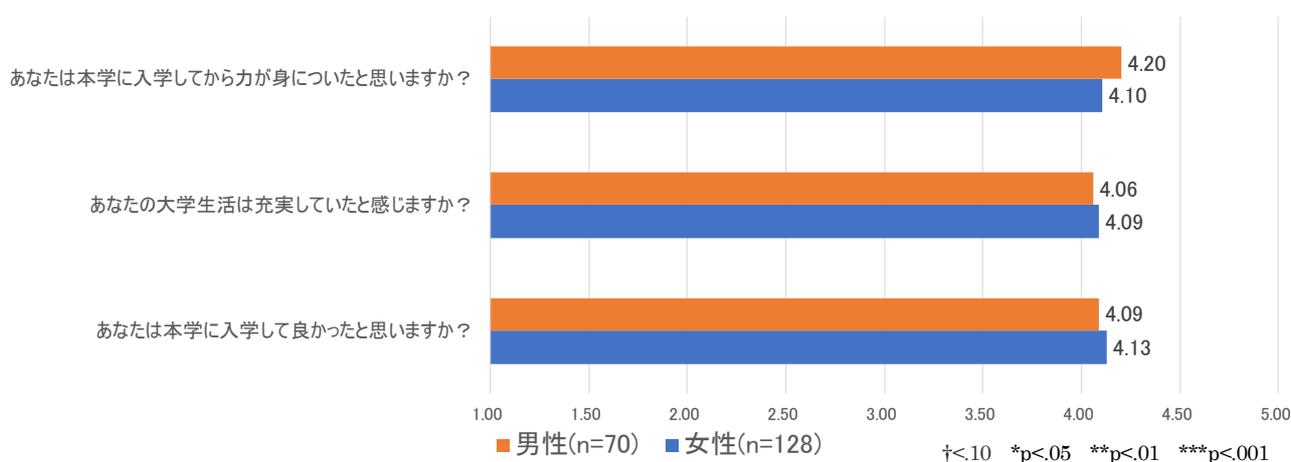


2-3. 性別の傾向について

- ・統計的に有意な差であるかということ
- ・単純に得点がどのくらいの得点であるかということ

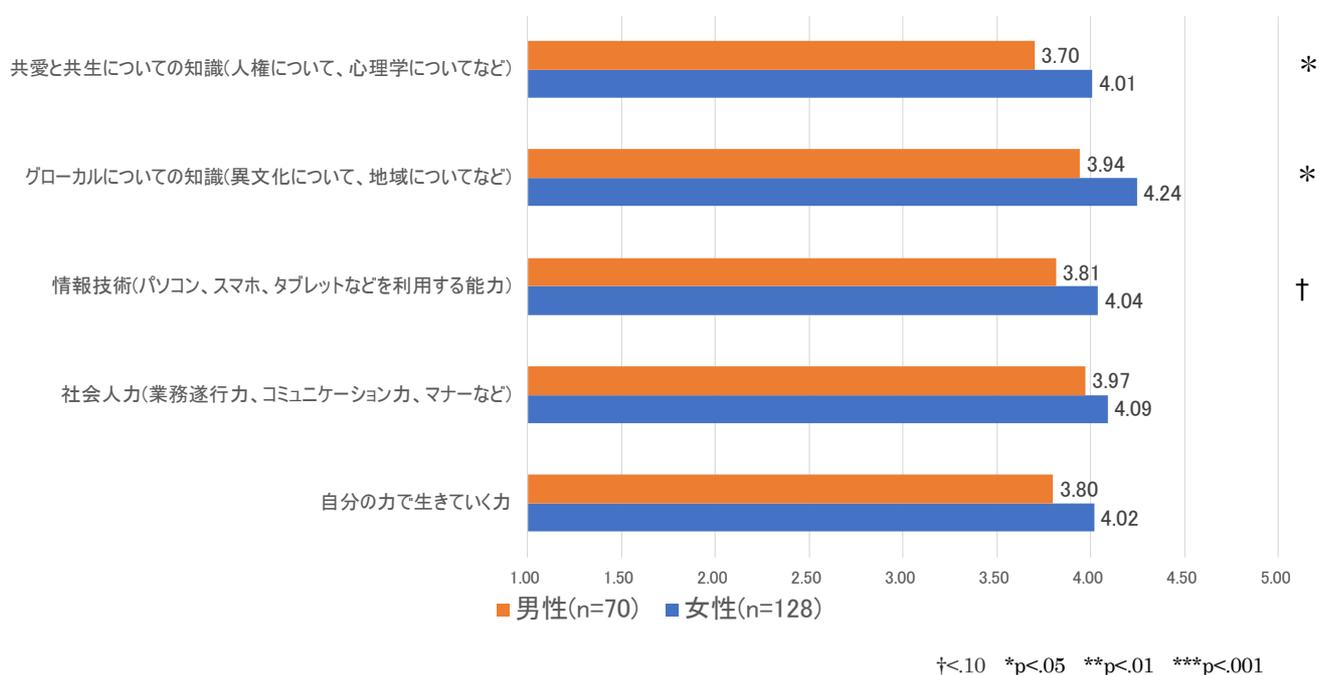
2-3-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について

有意な差は無し。「力が身についた」は昨年から逆転。全体的に微減。



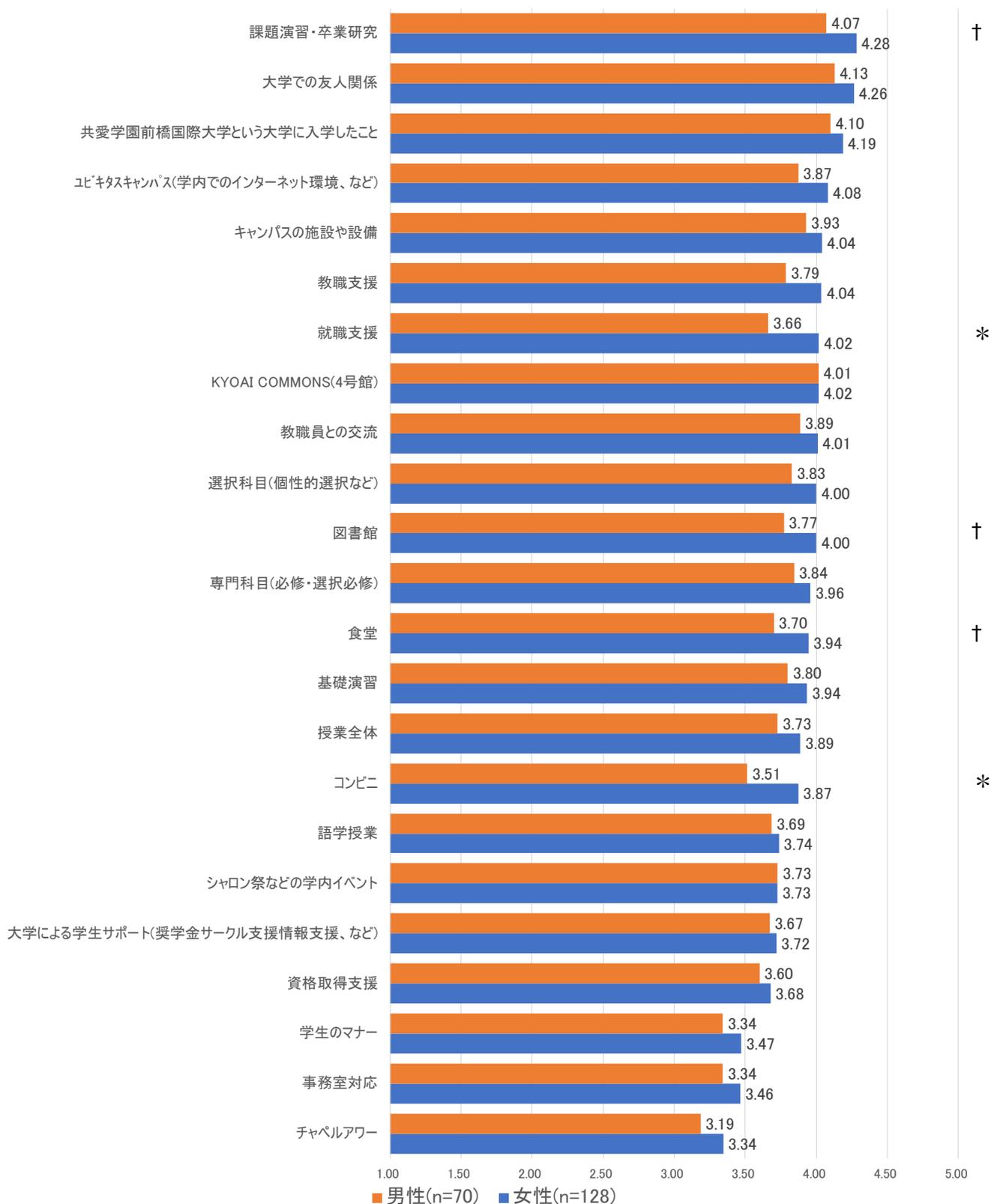
2-3-2. 共愛コア科目習得感について

共愛共生、グローバルにおいて性差。情報技術において有意傾向。



2-3-3. 学生生活の満足度について

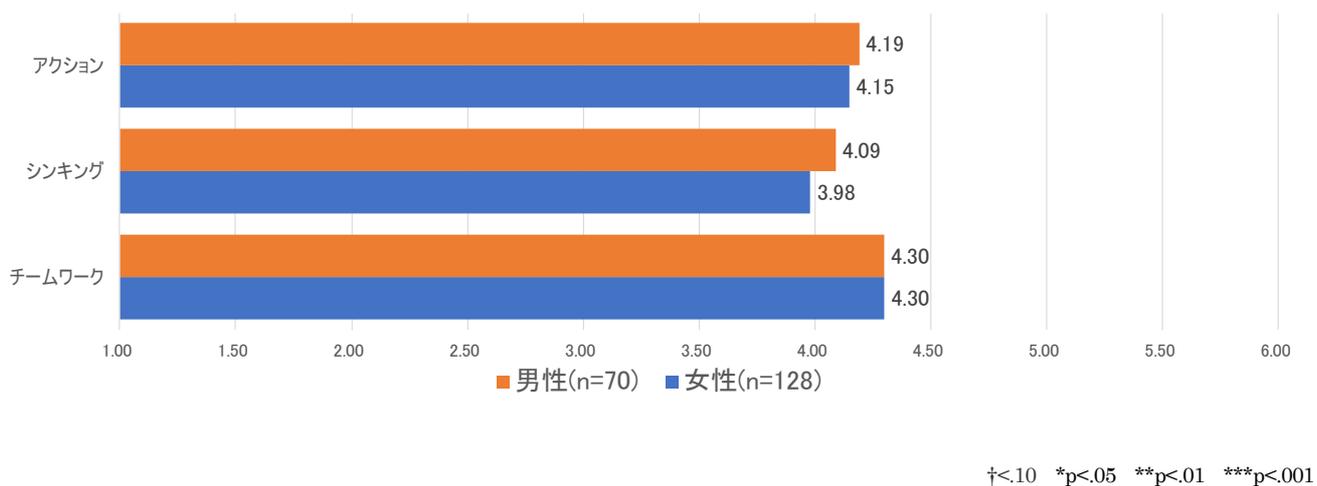
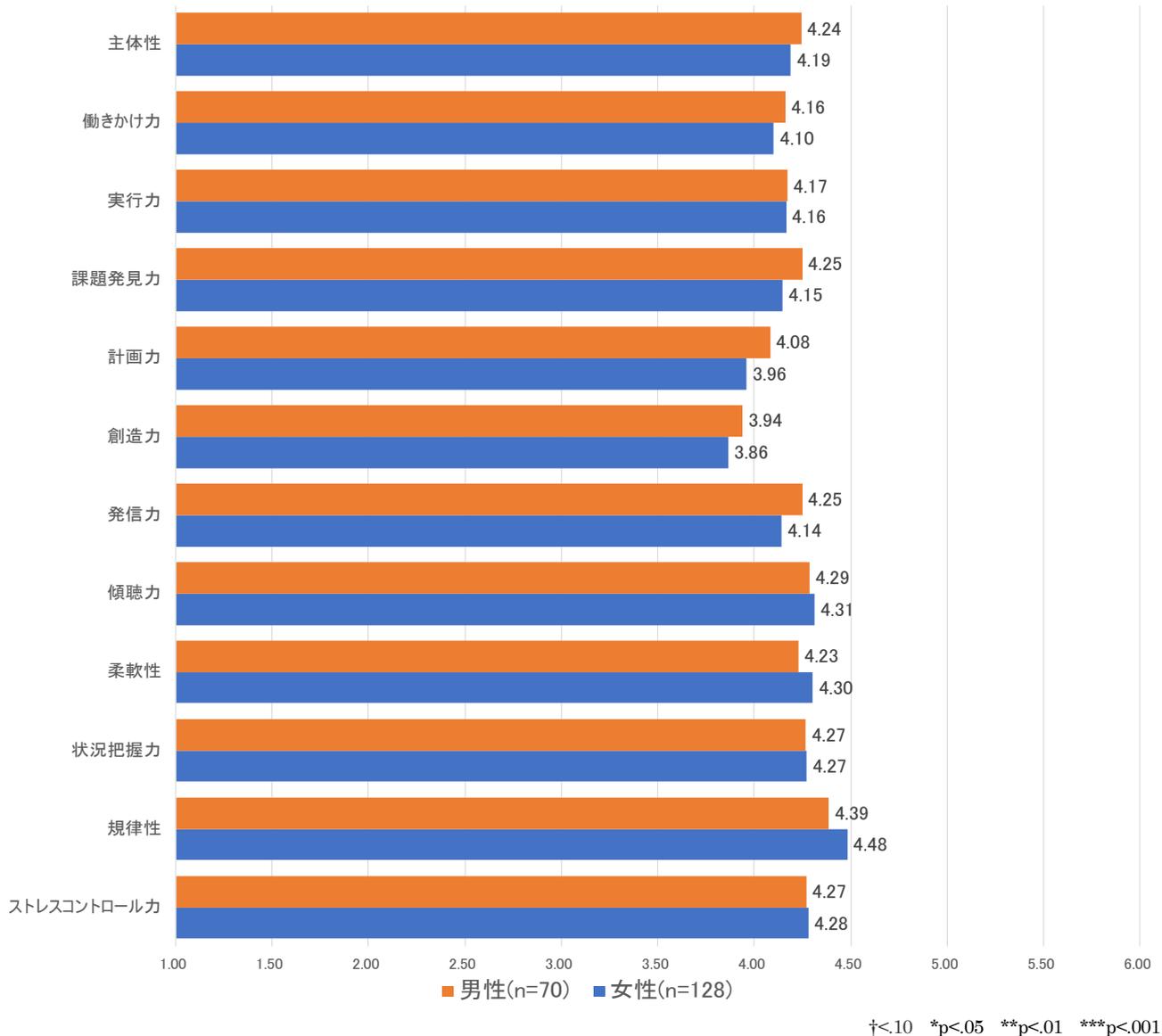
就職支援・コンビニにおいて有意な差。全体的には女性の方が男性に比べサポート面への学生生活への満足度は高い。



†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

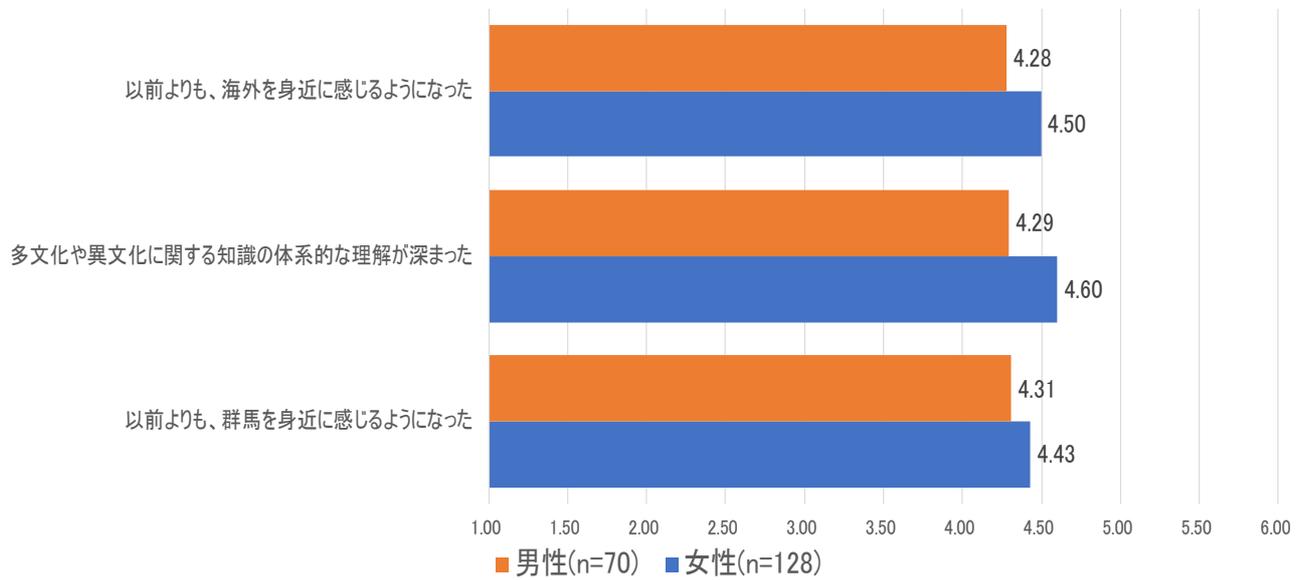
2-3-4. 社会人基礎力について

統計的に有意な性差は見られず。しかし、5には届かず。



2-3-5. グローカルについて

昨年度は性差は見られなかったが、今年度は多文化・異文化に有意差。
(2016年度はすべての項目で、女性が有意に高かった)

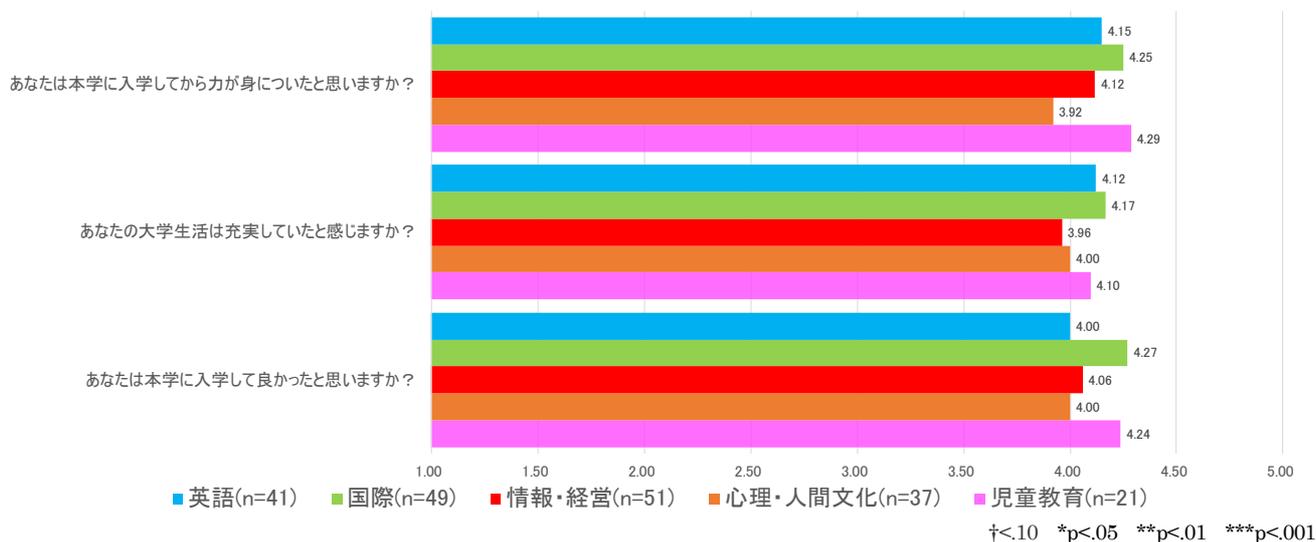


†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-4. コース別の傾向について

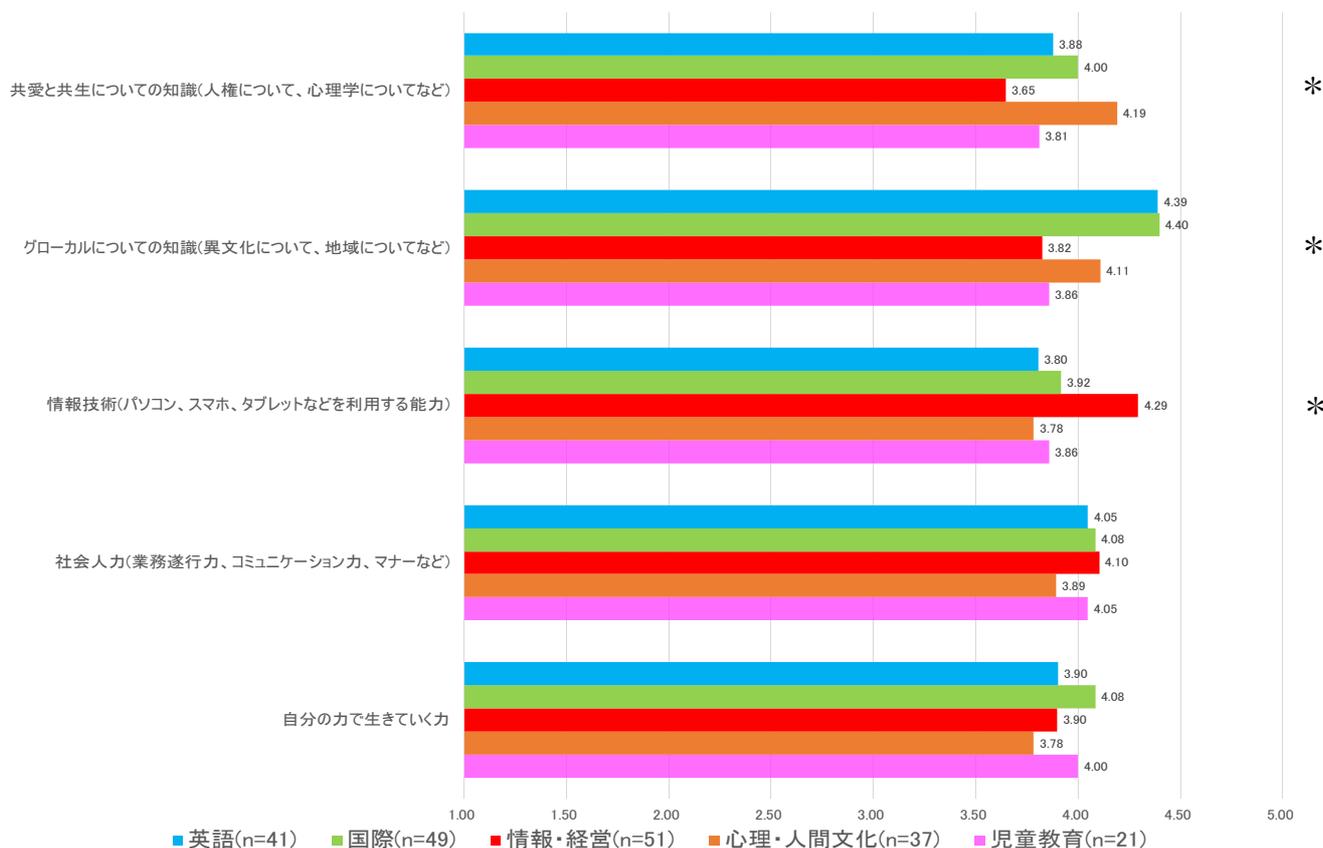
2-4-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について

昨年度は児童と心理の間に大きな差があったが、今年度は有意な差は無し。



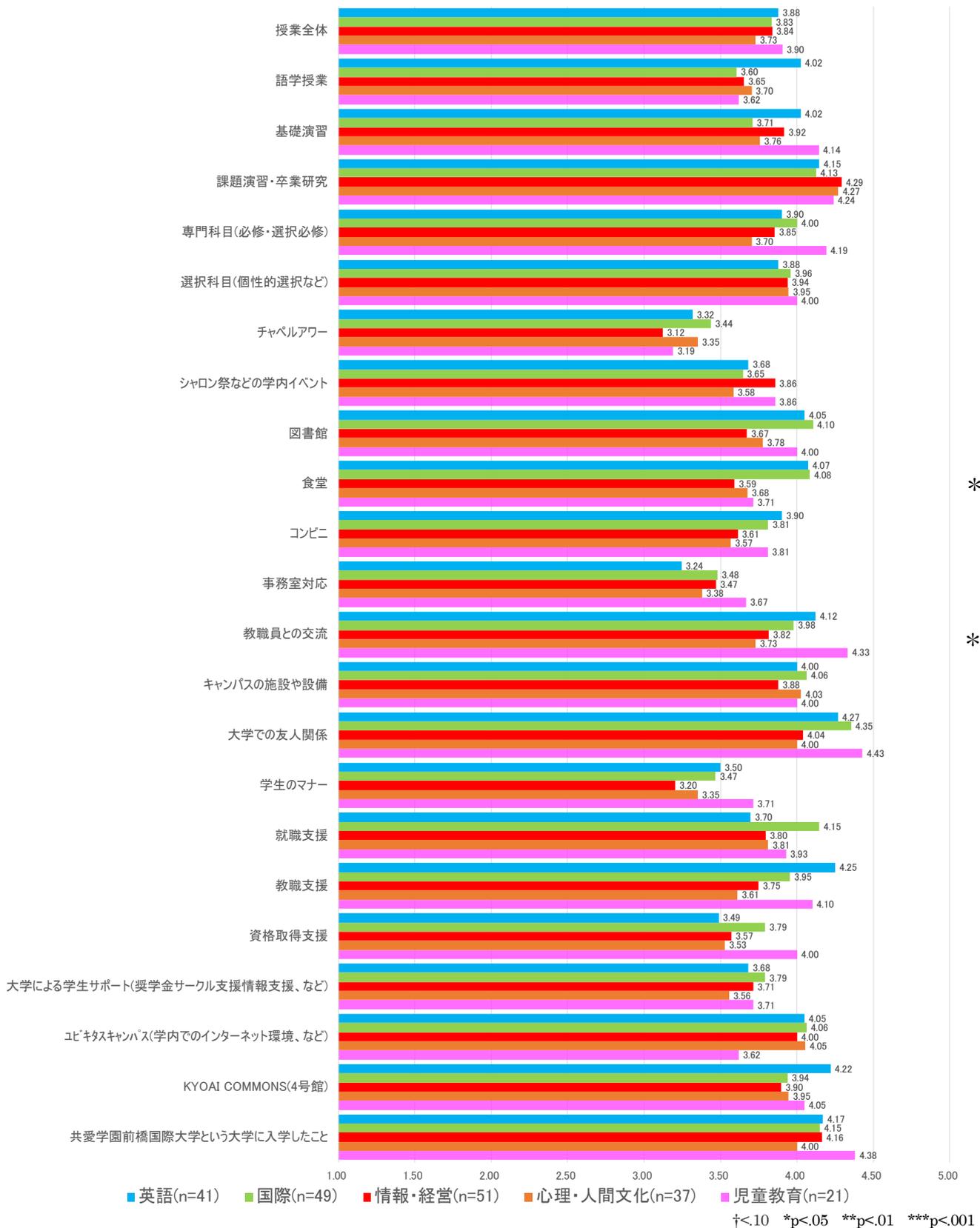
2-4-2. 共愛コア科目習得感について

昨年度は有意差なし。今年度は各コースの特色。



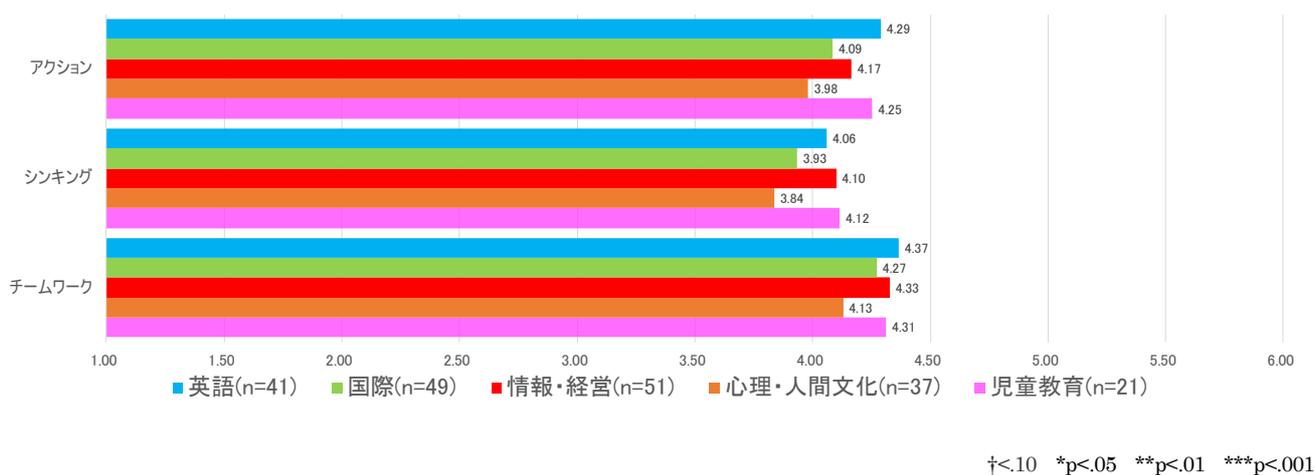
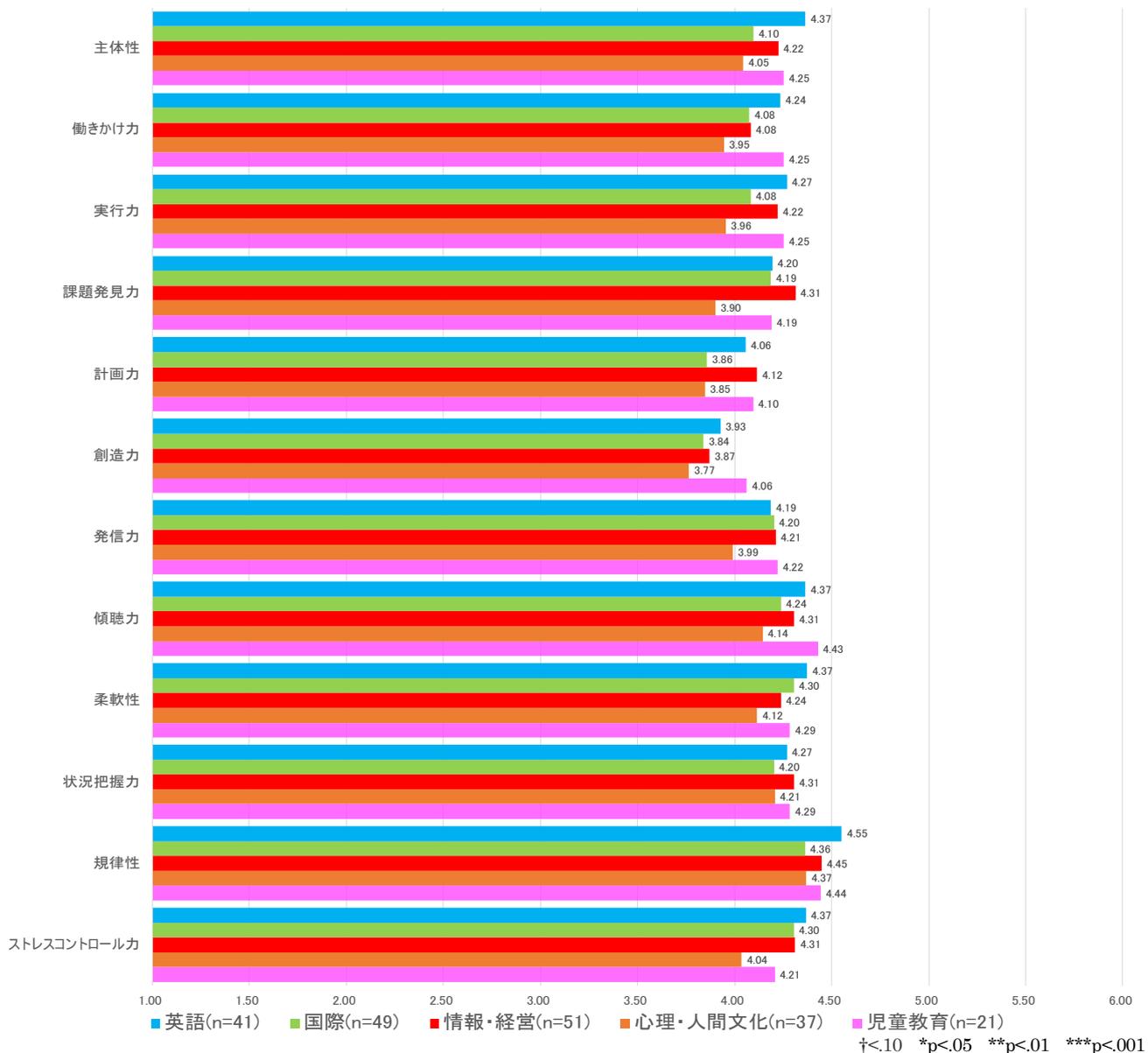
2-4-3. 学生生活の満足度について

食堂、教職員との交流に有意な差。



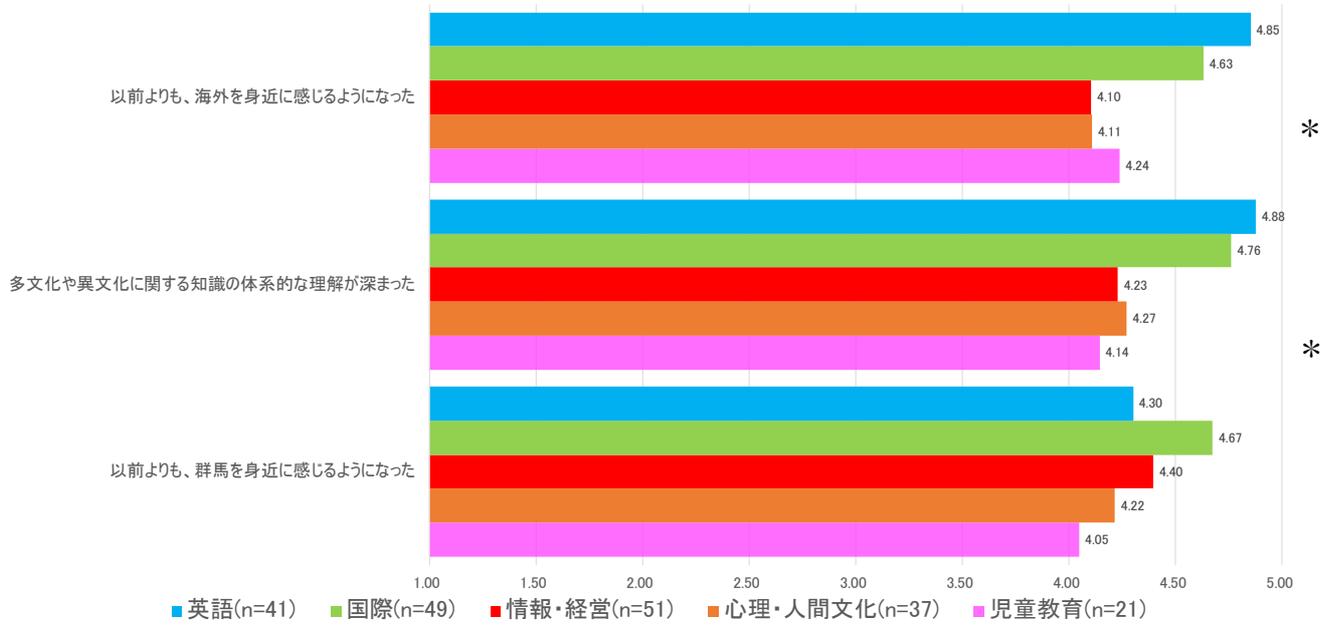
2-4-4. 社会人基礎力について

差があるように見えるが、統計的に有意な差は無し。



2-4-5. グローカルについて

グローバル（特にグローバル）に関してはコース間で有意な差があり



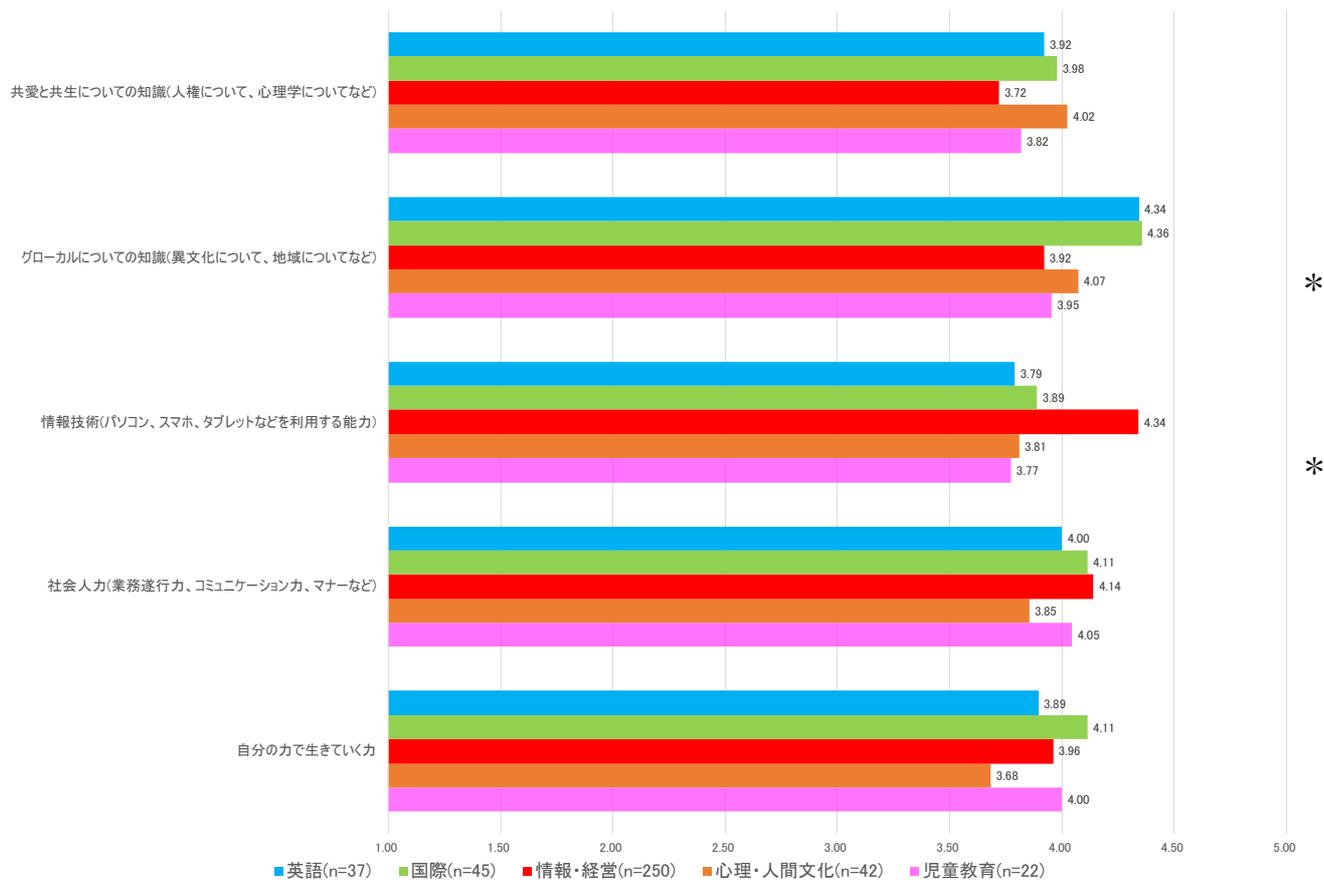
†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-5. 所属ゼミコース別の傾向について

2-5-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について

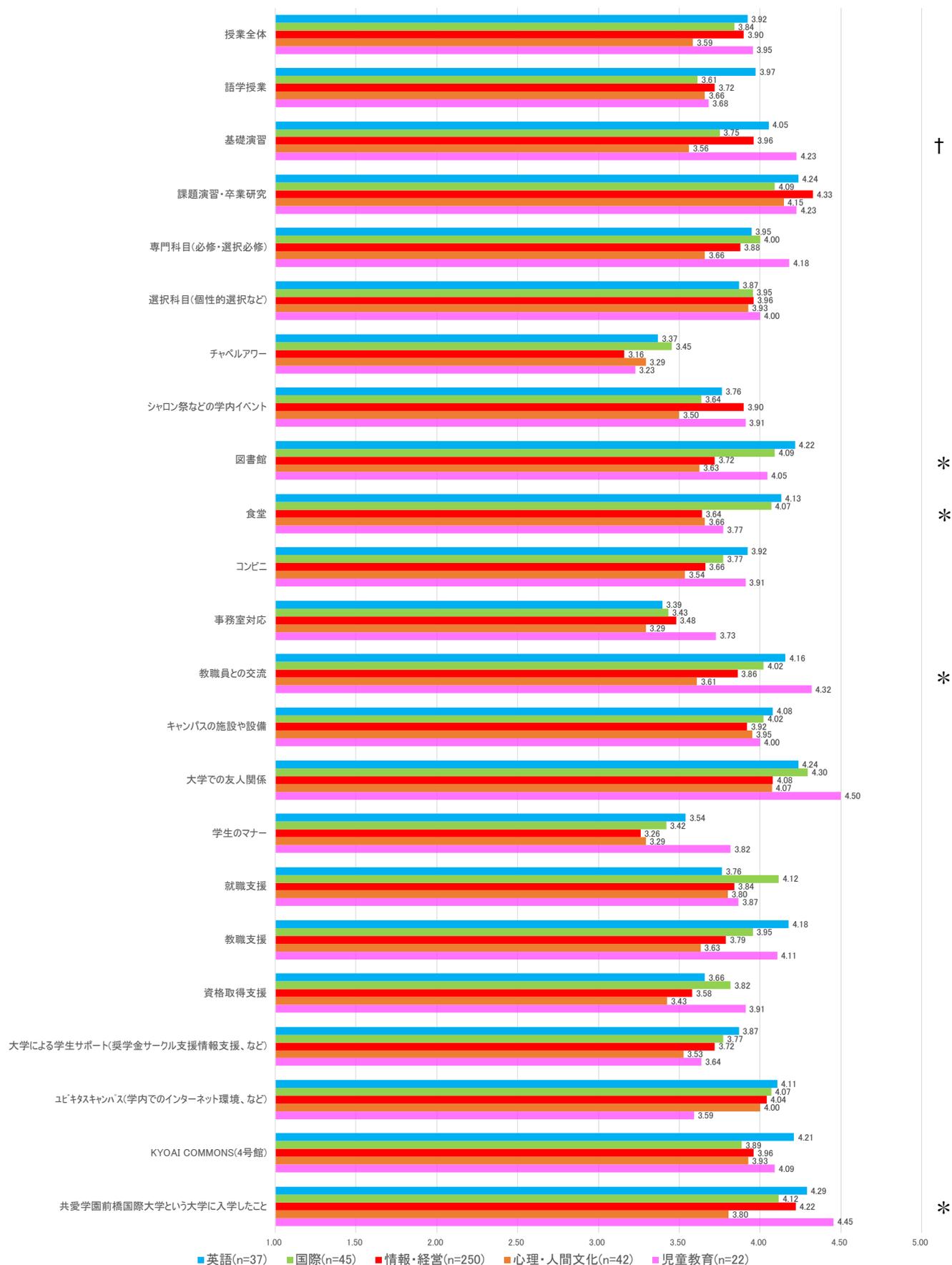


2-5-2. 共愛コア科目習得感について



†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-5-3. 学生生活の満足度について



†<0.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

†

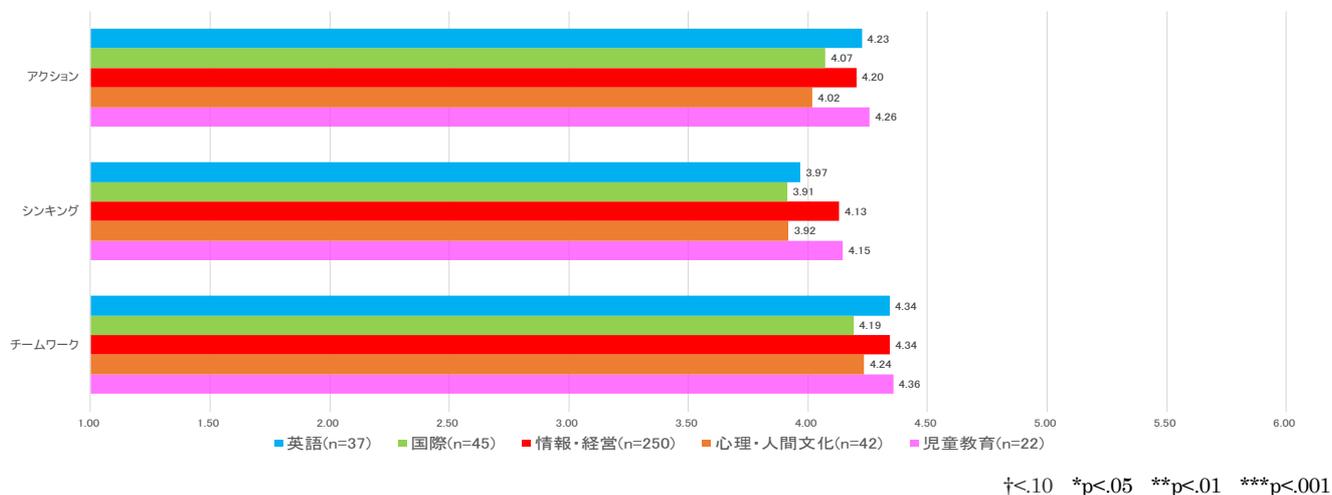
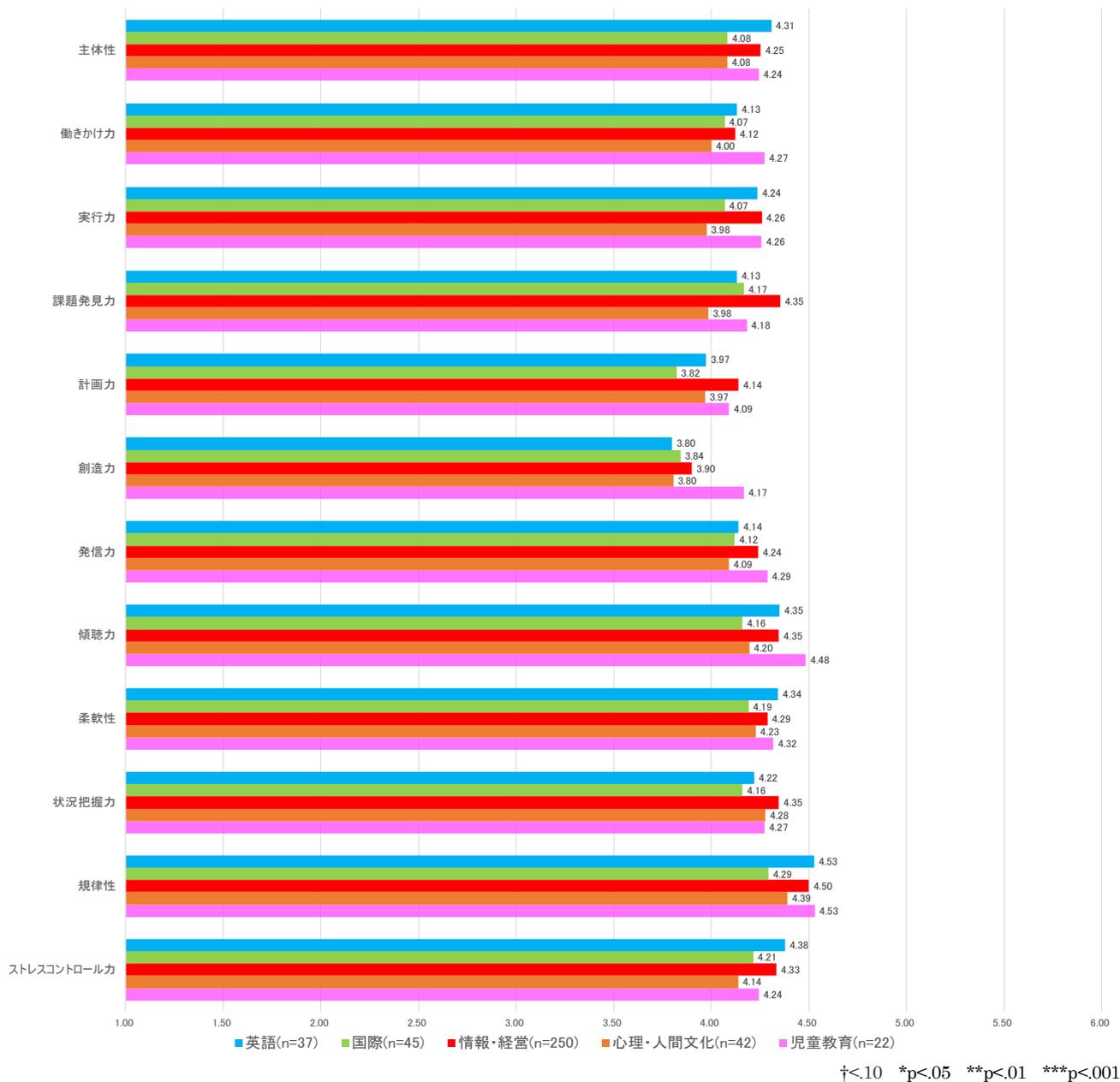
*

*

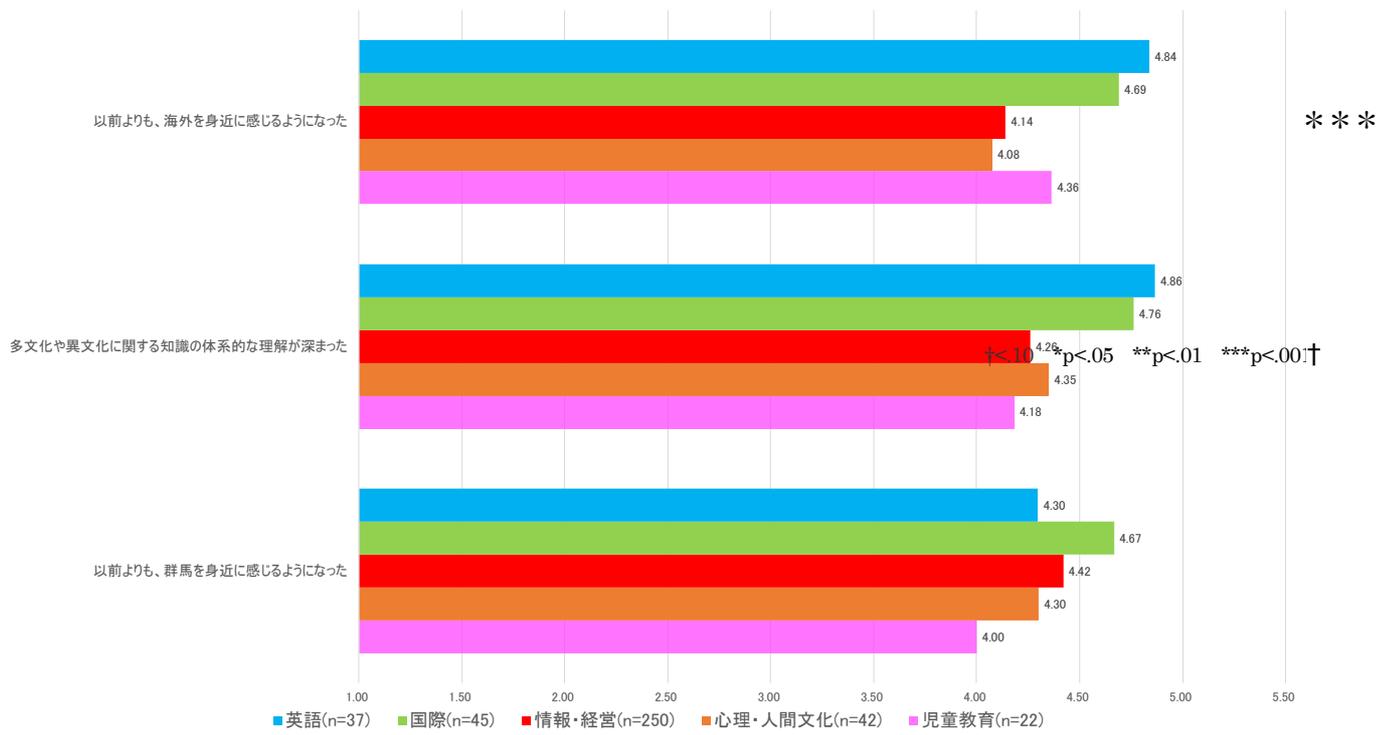
*

*

2-5-4. 社会人基礎力について



2-5-5. グローカルについて



†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

†

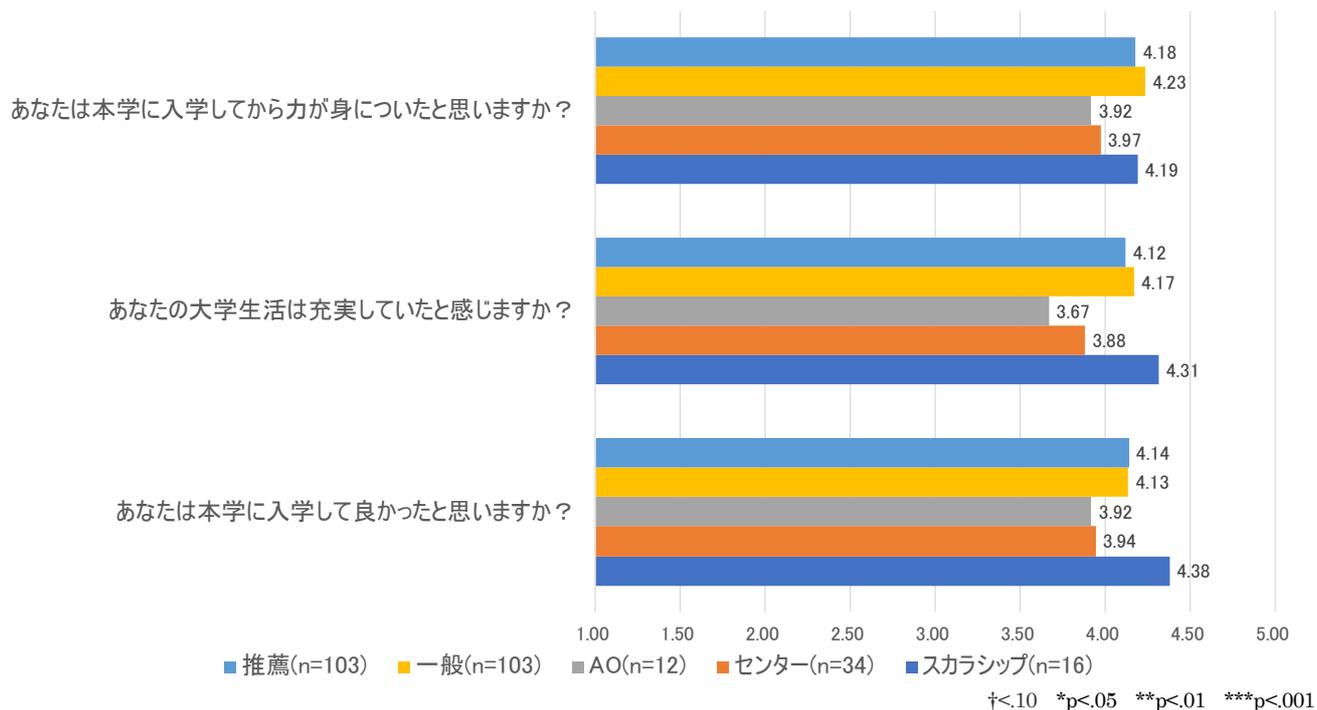
†

*

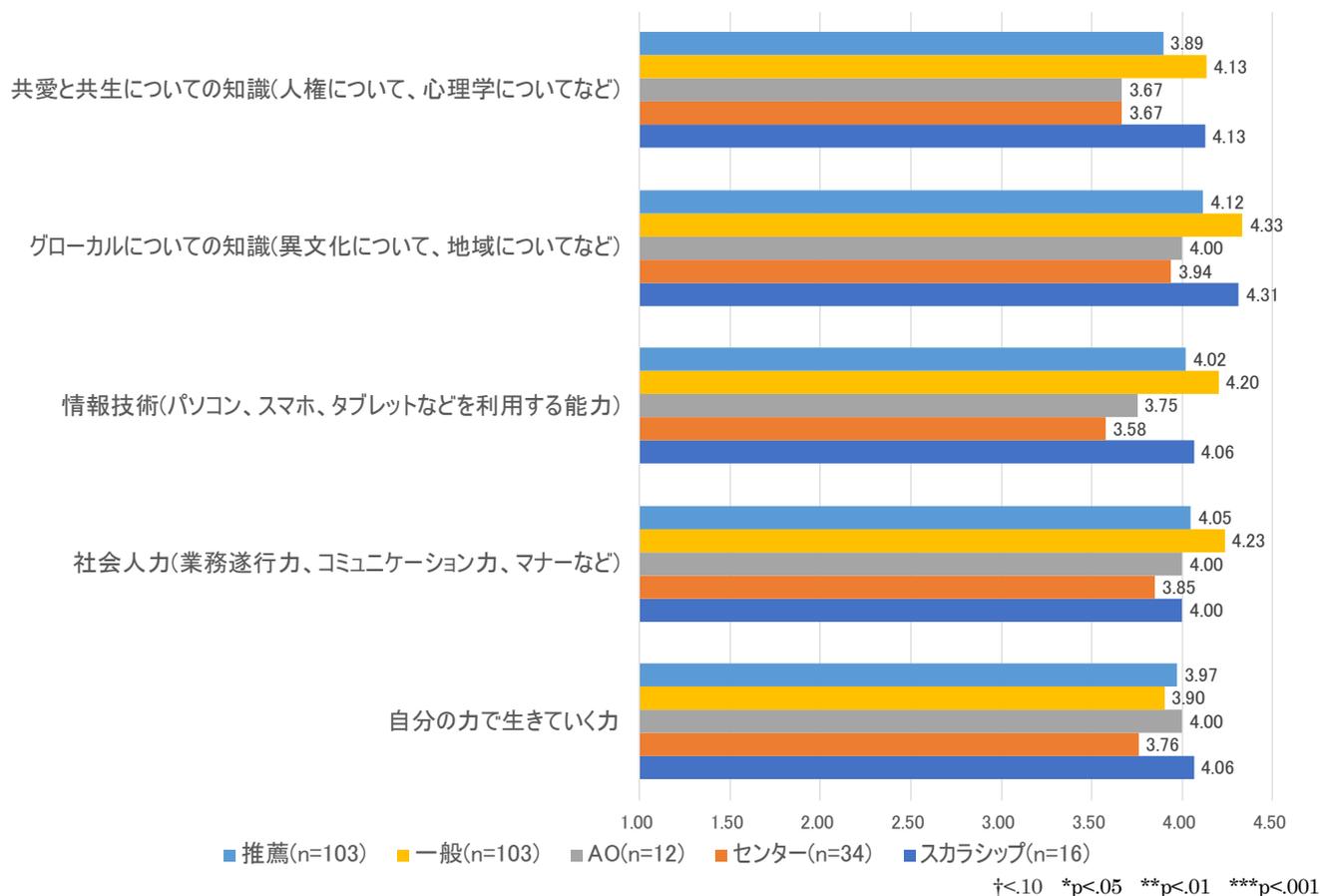
†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-6. 入試別の傾向について

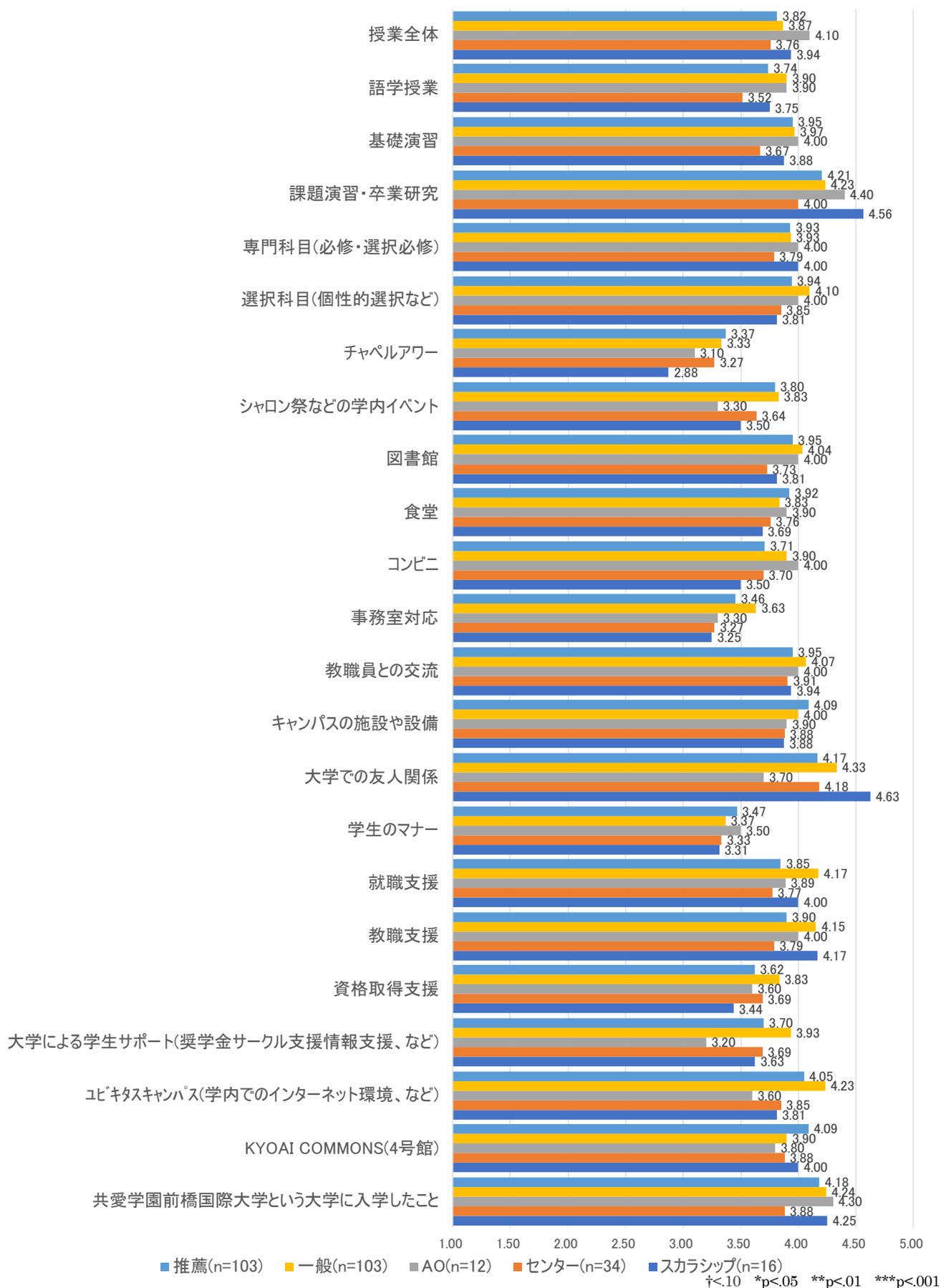
2-6-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について



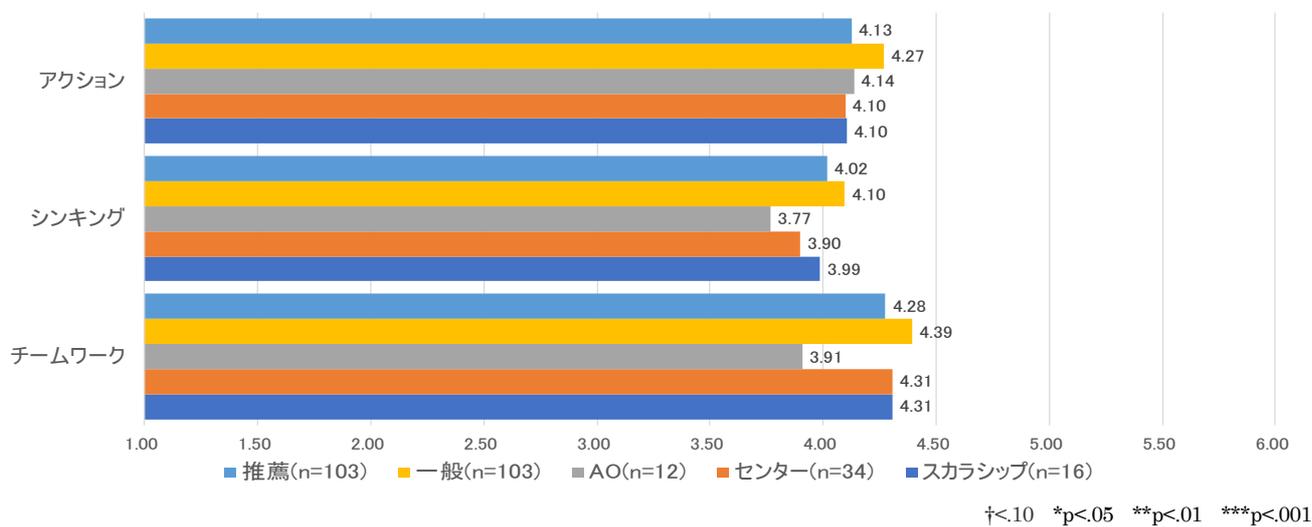
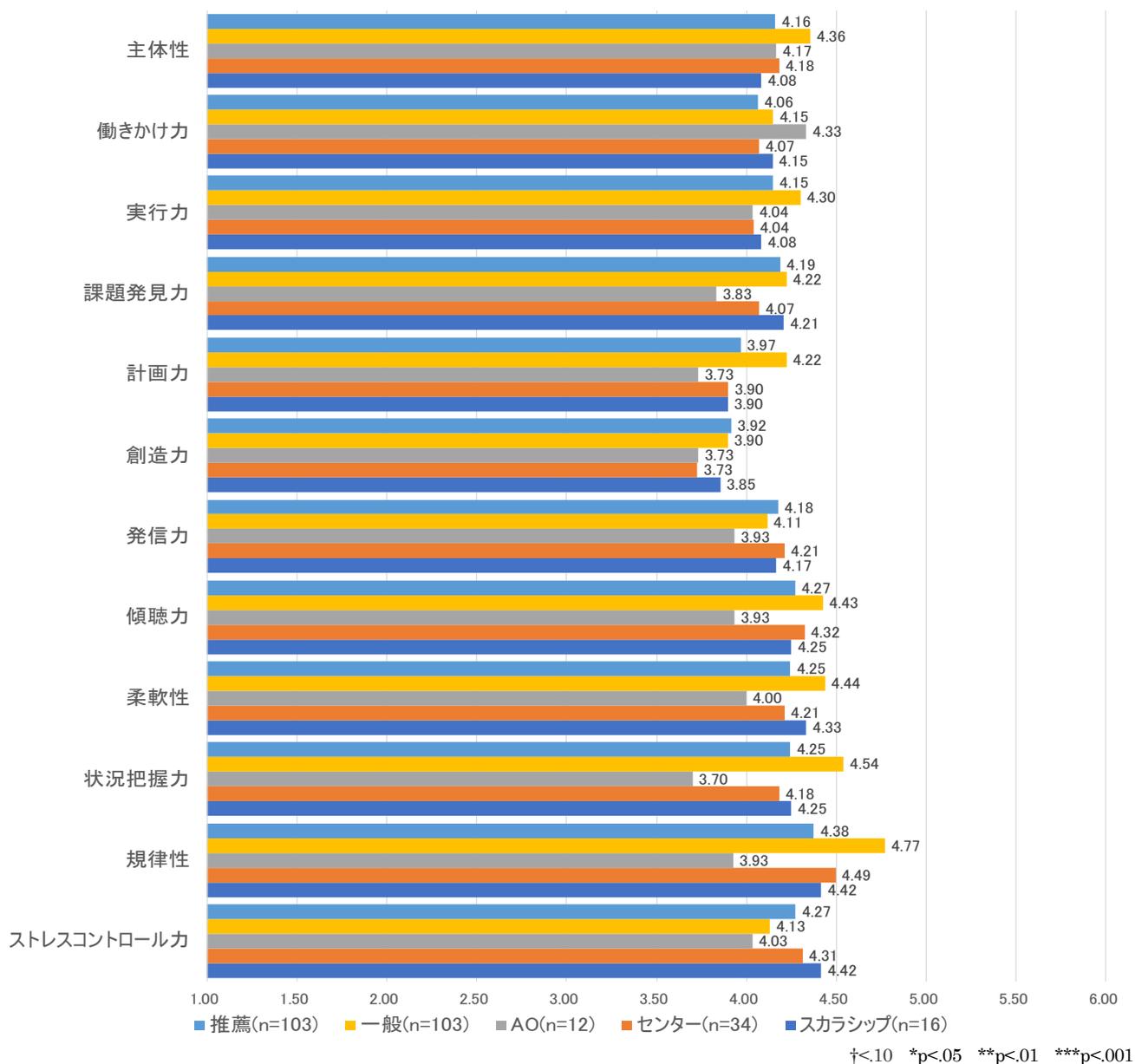
2-6-2. 共愛コア科目習得感について



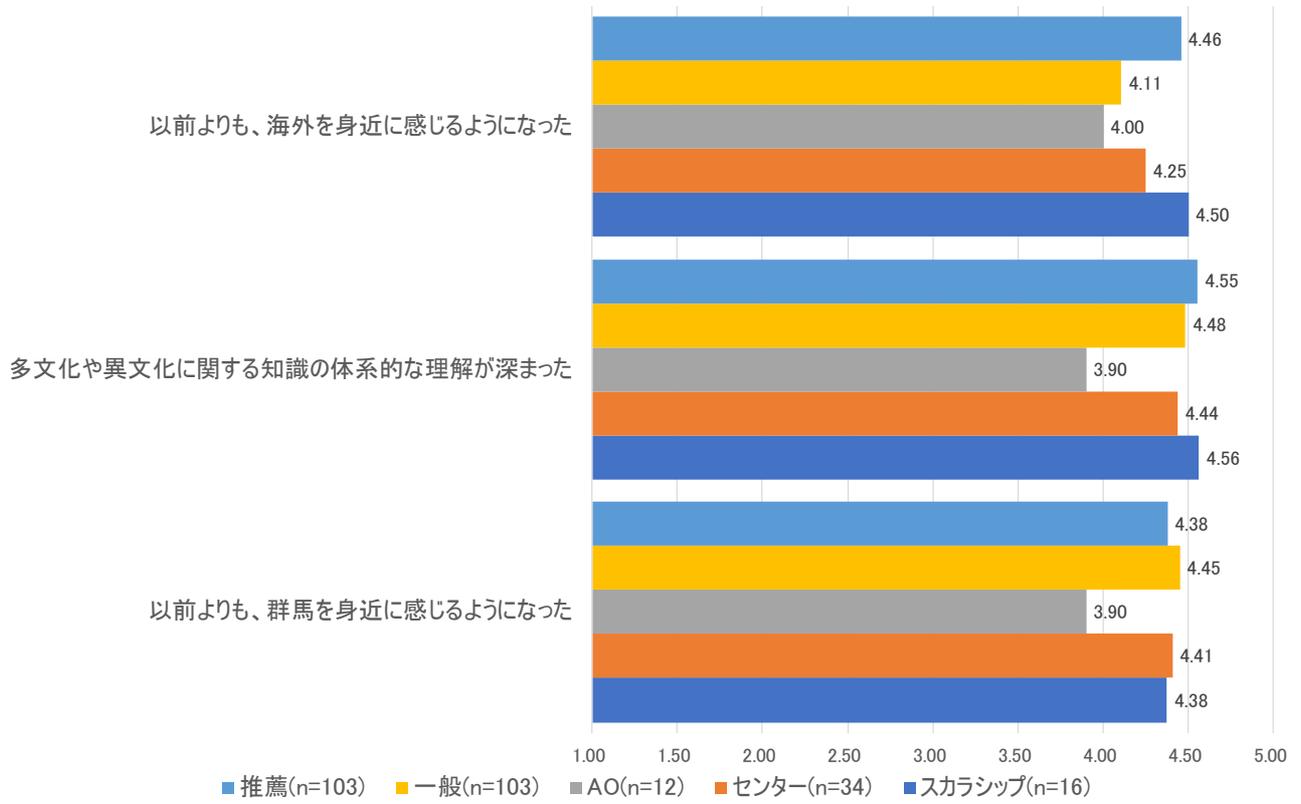
2-6-3. 学生生活の満足度について



2-6-4. 社会人基礎力について



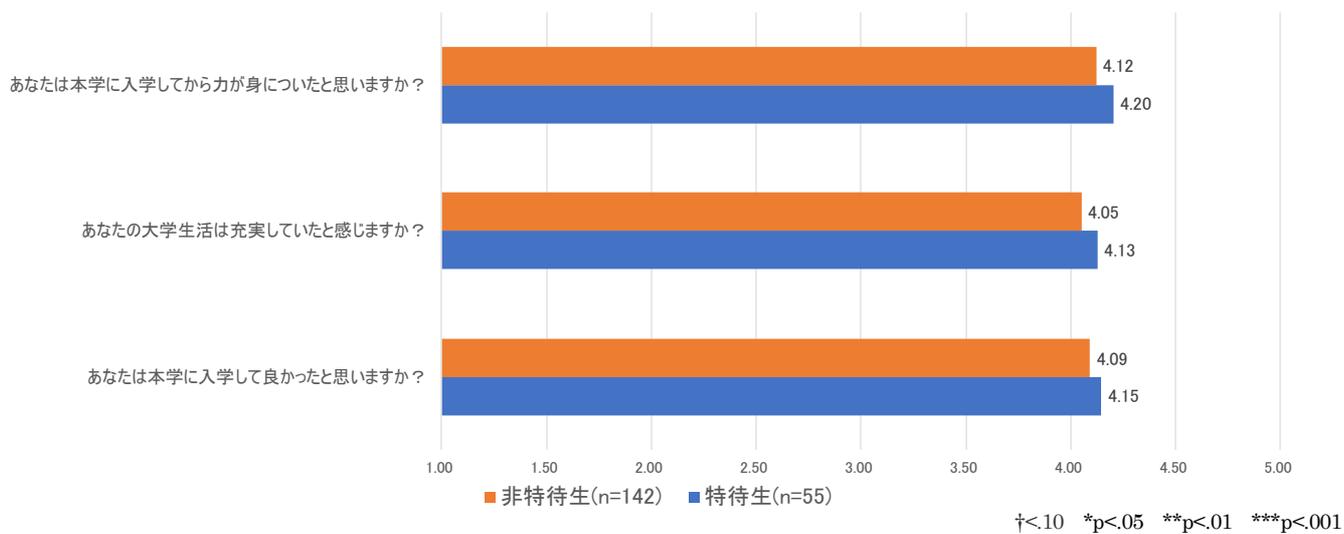
2-6-5. グローカルについて



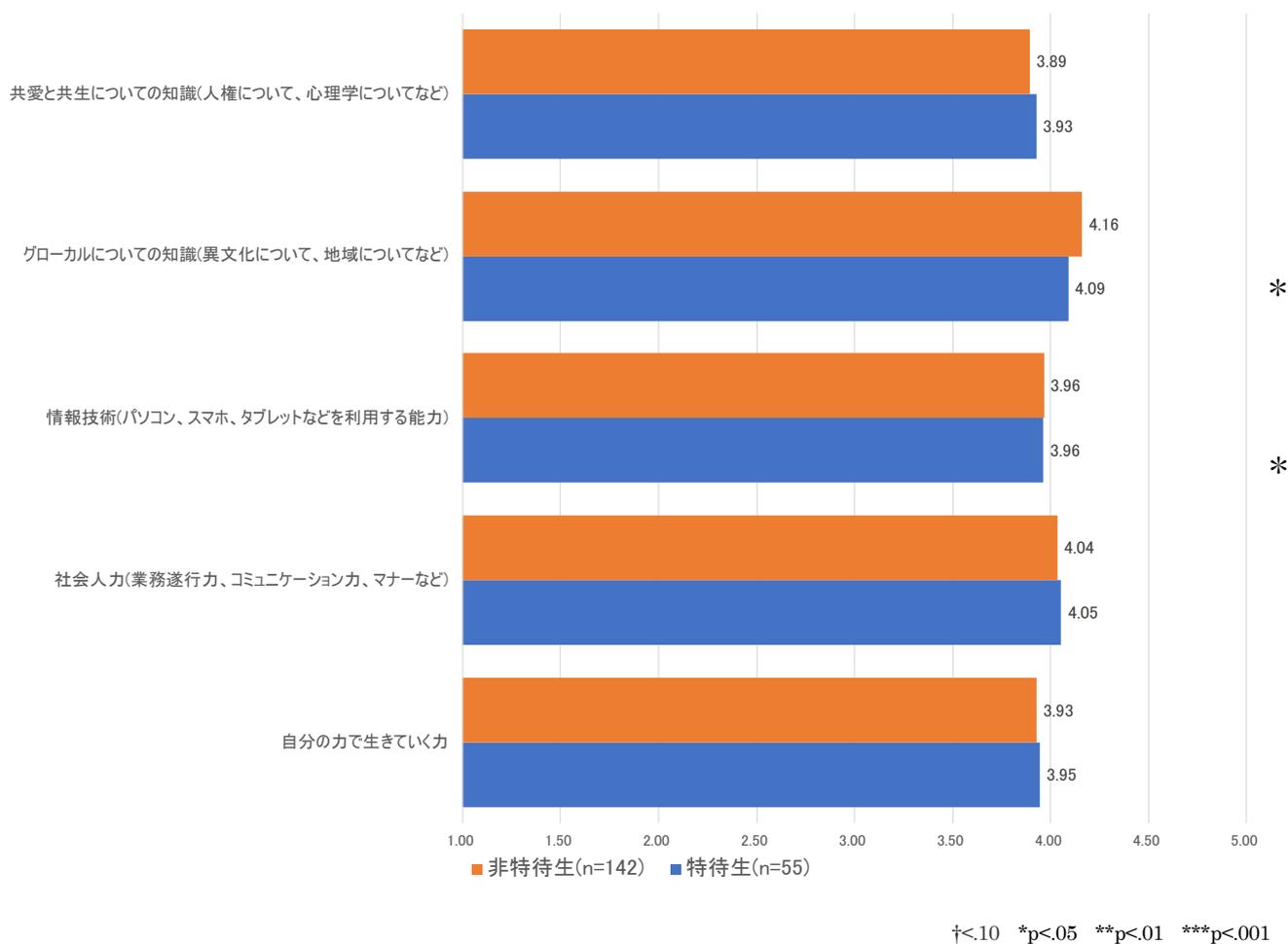
†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-7. 特待別の傾向について

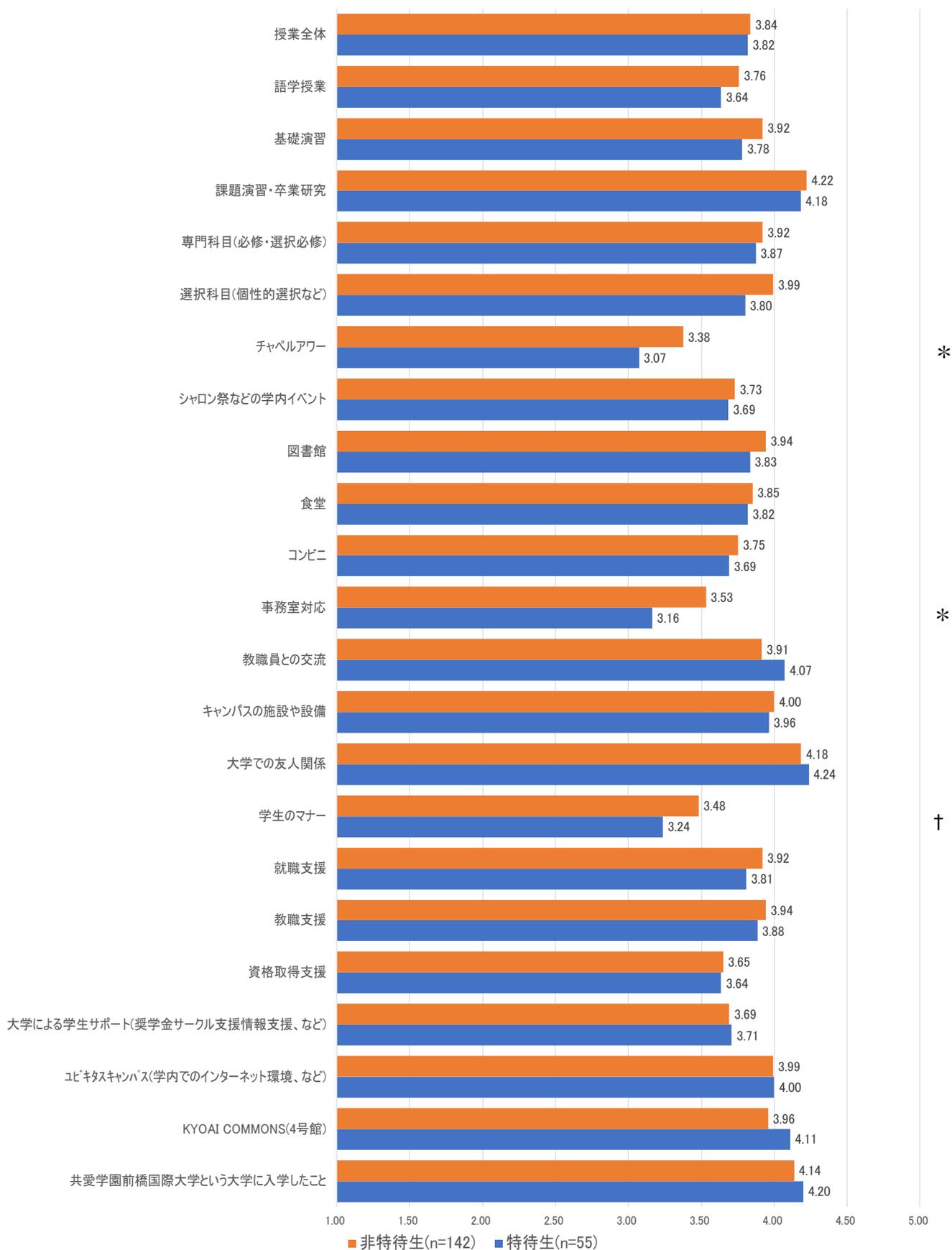
2-7-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について



2-7-2. 共愛コア科目習得感について

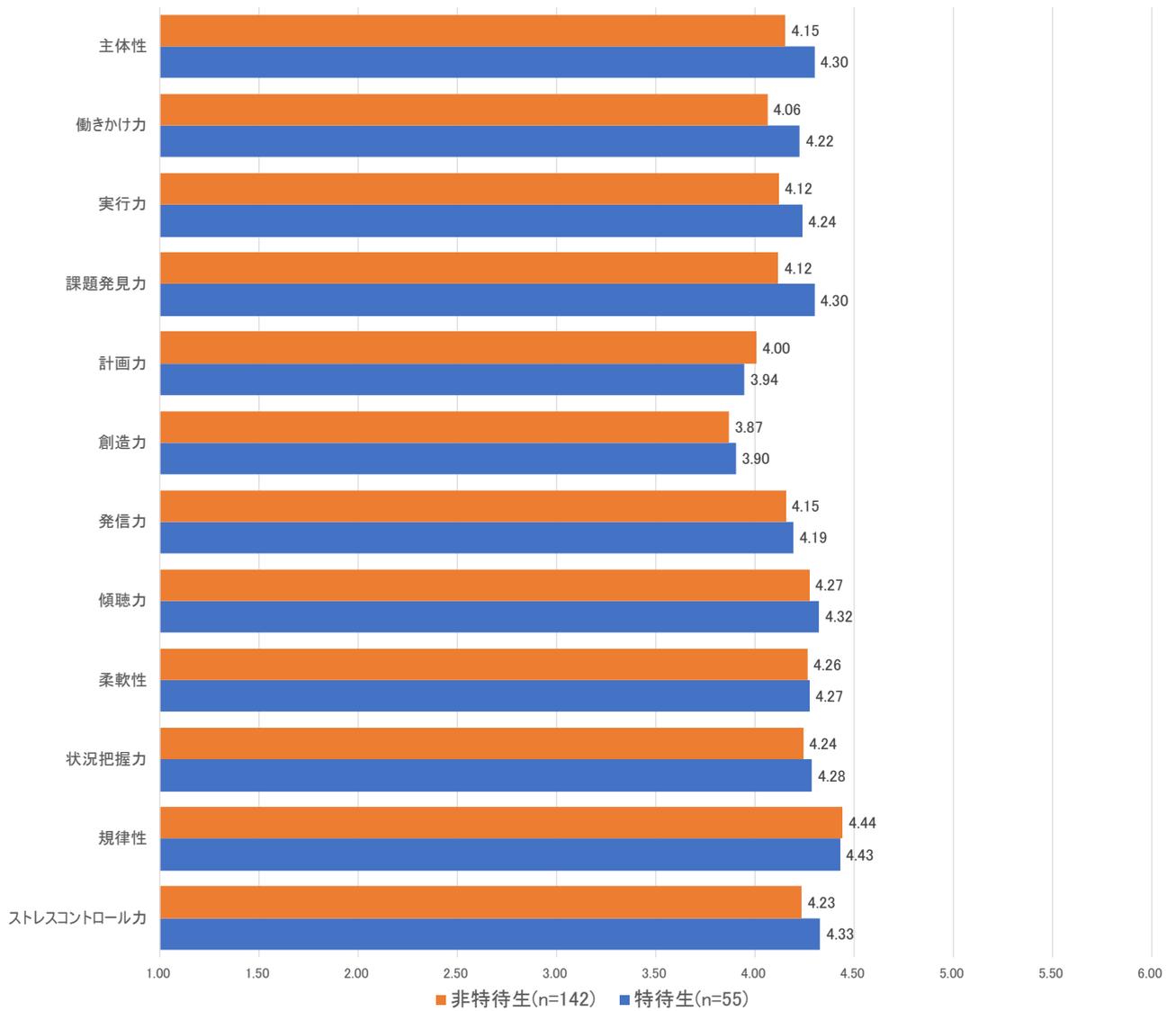


2-7-3. 学生生活の満足度について

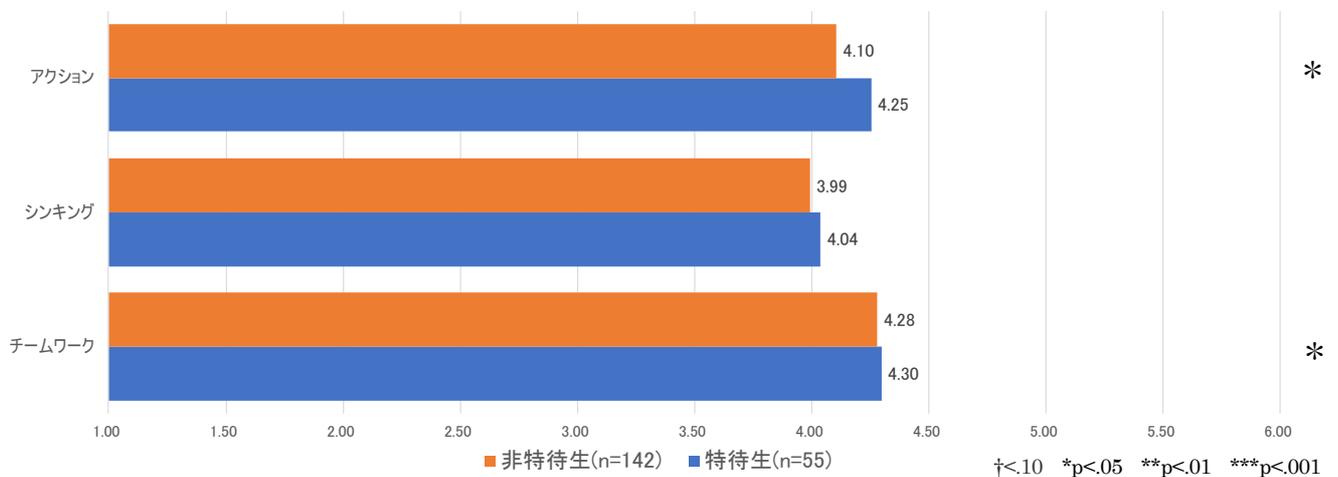


†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

2-7-4. 社会人基礎力について

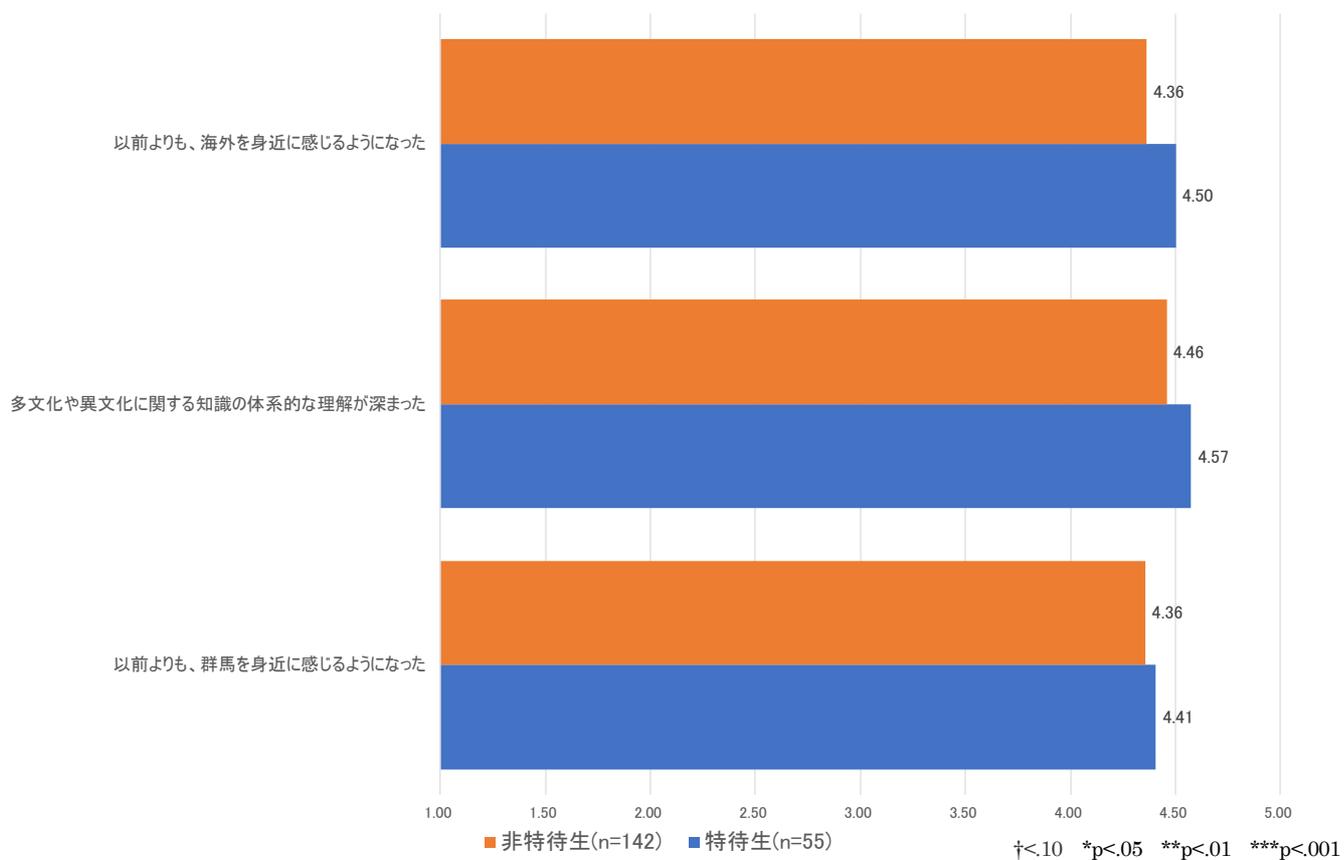


†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001



†<.10 *p<.05 **p<.01 ***p<.001

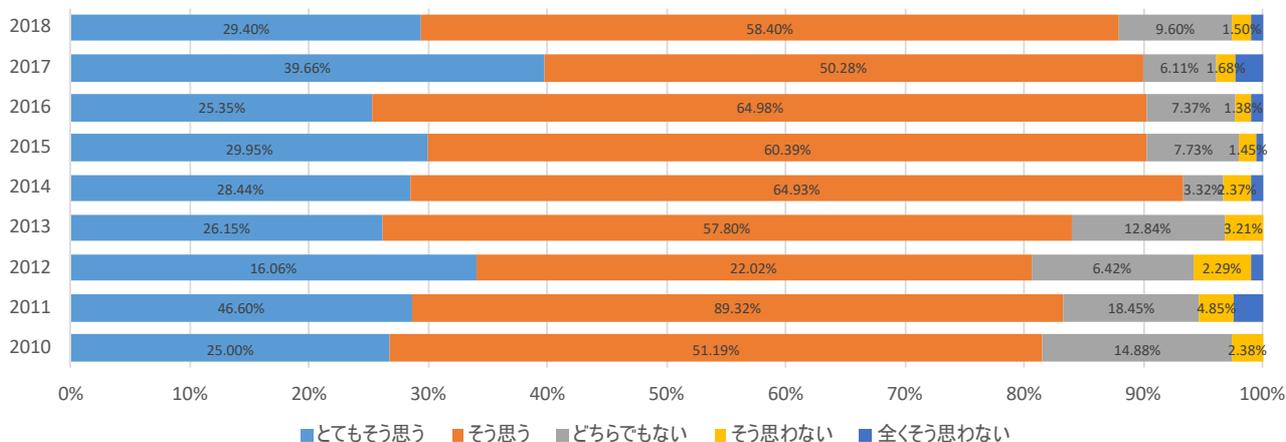
2-7-5. グローカルについて



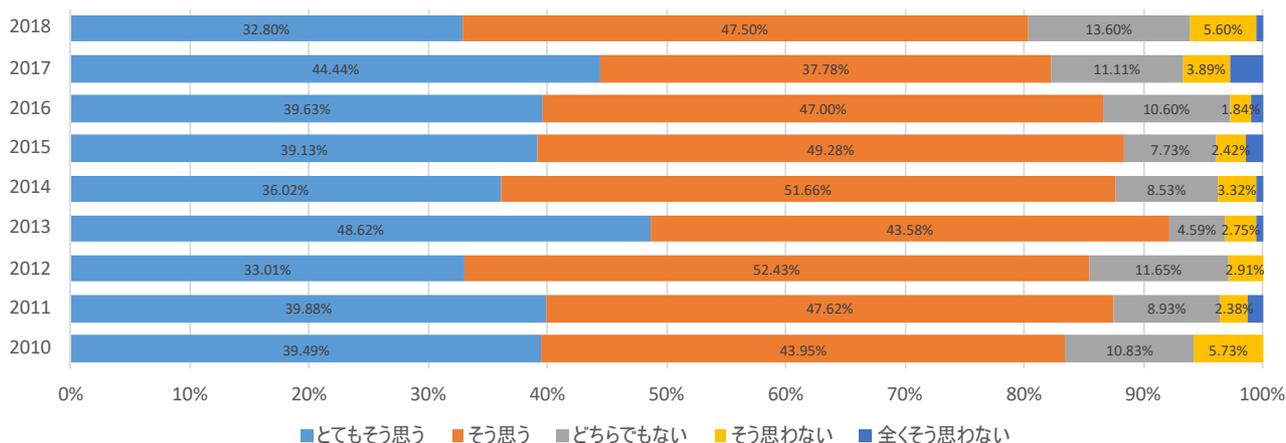
2-8. 年度別変化

2-8-1. 本学でのスキル習得感・学生生活の充実感について

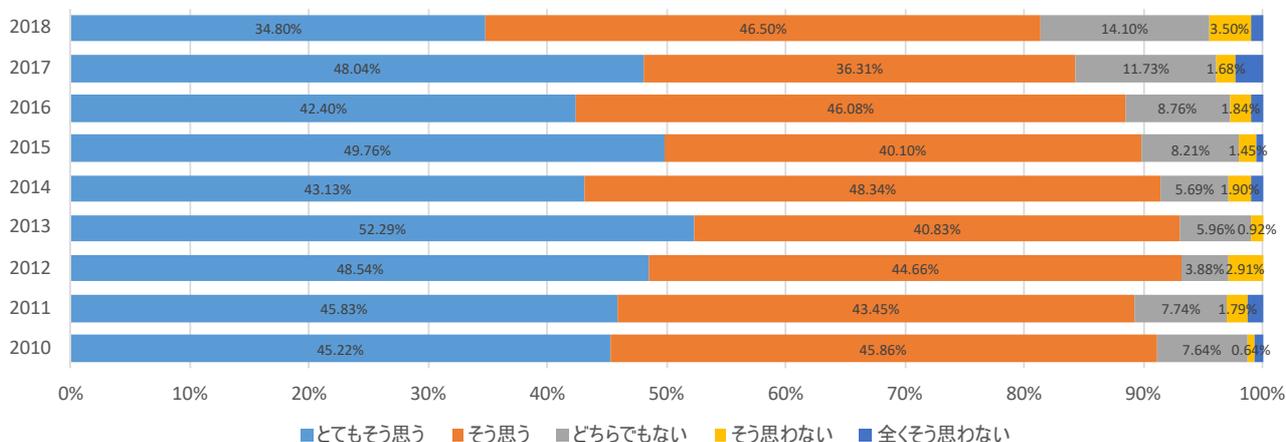
あなたは本学に入学してから力が身についたと思いますか？



あなたの大学生生活は充実していたと感じますか？



あなたは入学して良かったと思いますか？



2018年度 卒業生アンケート

卒業生のみなさま、卒業おめでとうございます。

これからは社会に羽ばたき、本学で学んだことを活かして活躍することを期待しております。

最後に学生生活を振り返り、以下のアンケートにご協力お願いいたします。

後輩たちに向けて、さらによりよい大学にするため、みなさんの声をお聞かせください。

このアンケートは、皆さんの後輩たちのお学生生活をより良いものとしていくために、大学生活を皆さんがどのよう
に感じていたのかをお聞きするものです。そのため、みなさんのプライバシーが危険に晒されたりすることは絶対にあ
りません。

なるべく多くの学生の意見を聞き、みなさんの母校を更に良い大学にしていきたいと思っていますので、ありのまま
に自由に教えてください。ちょっと大変ですが、よろしくお願いたしますね。

■あなたについてお伺いします。回答はマークシートに番号で記入してください。

はじめに名前と学籍番号を記入してください。

- 性別 : ①女 ・ ②男 ・ ③その他
- コース : ①英語 ・ ②国際 ・ ③情報・経営 ・ ④心理・人間文化 ・ ⑤児童教育
- 3・4年で所属したゼミのコース(例 英語コース所属だが情報・経営コースのゼミ、など)
※同じ場合は、同じコースの番号にマークをしてください。
①英語 ・ ②国際 ・ ③情報・経営 ・ ④心理・人間文化 ・ ⑤児童教育
- あなたの入試形態は、以下のうちどれでしたか? :
①推薦 ・ ②一般 ・ ③AO ・ ④センター ・ ⑤社会人 ・ ⑥留学生 ・ ⑦編入 ・ ⑧スカラシップ
- あなたは特待生であった経験がありますか? : ①はい ・ ②いいえ
- あなたは就職活動の際、本学の就職センターを利用しましたか? : ①はい ・ ②いいえ
- KCG(Kyoai Career Gate)の利用状況
①: 1度もログインしなかった ②: 1回だけログインした
③: 書き込んだ項目もある ④: 学生生活は全て記入した

■次の質問について、1から5の最もあてはまる数字にマークをしてください

①全くそう思わない ②そう思わない ③どちらでもない ④そう思う ⑤とてもそう思う

- あなたは本学に入学してから力が身についたと思いますか?
- あなたの大学生生活は充実していたと感じますか?
- あなたは本学に入学して良かったと思いますか?

■次の質問項目についてあなたはどのくらい身についたと思いますか？最もあてはまる数字にマークをしてください

- ①全く身につかなかった ②やや身につかなかった ③どちらでもない ④やや身についた ⑤とても身についた

11. 共愛と共生についての知識（人権について、心理学についてなど）
12. グローカルについての知識（異文化について、地域についてなど）
13. 情報技術（パソコン、スマホ、タブレットなどを利用する能力）
14. 社会人力（業務遂行力、コミュニケーション力、マナーなど）
15. 自分の力で生きていく力

■次の質問項目について、あなたはどのくらい満足していますか？最もあてはまる数字にマークをしてください

- ①非常に不満 ②やや不満 ③どちらでもない ④やや満足 ⑤非常に満足

- | | |
|---------------------|--|
| 16. 授業全体 | 30. 大学での友人関係 |
| 17. 語学授業 | 31. 学生のマナー |
| 18. 基礎演習 | 32. 就職支援（該当する方のみ・該当しない方は「6」にマークしてください） |
| 19. 課題演習・卒業研究 | 33. 教職支援（該当する方のみ・該当しない方は「6」にマークしてください） |
| 20. 専門科目（必修・選択必修など） | 34. 資格取得支援 |
| 21. 選択科目（個性的選択など） | 35. 大学による学生サポート（奨学金サークル支援情報支援、など） |
| 22. チャペルアワー | 36. ユビキタスキャンパス（学内でのインターネット環境、など） |
| 23. シャロン祭など学内のイベント | 37. KYOAI COMMONS（4号館） |
| 24. 図書館 | 38. 共愛学園前橋国際大学という大学に入学したこと |
| 25. 食堂 | |
| 26. コンビニ | |
| 27. 事務室対応 | |
| 28. 教職員との交流 | |
| 29. キャンパスの施設や設備 | |

■すべての授業が終了した今のあなたのことについてお聞きます。最もあてはまる数字にマークをしてください

- ①あてはまらない ②ほとんどあてはまらない ③ややあてはまらない ④ややあてはまる ⑤かなりあてはまる ⑥あてはまる
この項目のみ6段階での回答になるので、注意してください。

39. グループでの取り組みで、自分の役割は何かを見極めている
40. 困難なことでも自分の強みを生かして取り組んでいる
41. 自分の役割や課題に対して自発的自立的に行動している
42. メンバーの協力を得るために、協力の必要性や目的を伝えている
43. 状況に応じて効果的な協力を得るために、様々な手段を活用している

44. グループの目標を達成するために積極的にメンバーに働きかけている
45. 目標達成に向かって粘り強く取り組み続けている
46. とにかくやってみようとする果敢さをもって課題に取り組んでいる
47. 困難な状況から逃げずに目標に向かって取り組み続けている
48. 目標達成のために現段階での課題を的確に把握している

49. 現状を正しく認識するための情報収集や分析をしている
50. 課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている
51. 目標達成までのプロセスを明確化し、実現性の高い計画を立てている
52. 目標達成までの計画と実際の進み具合の違いに留意している
53. 計画の進み具合や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正している

54. 複数のものの考え方技術などを組み合わせ、新しいものを作り出している
55. 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出している
56. 目標達成を意識し、新しいものを生み出すためのヒントを探している
57. グループの取り組みで、メンバーに情報をわかりやすく伝えている
58. メンバーがどのような情報を求めているかを理解して伝えている

59. 話そうとすることを自分なりに理解した上でメンバーに伝えている
60. 内容の確認や質問などを行いながら、メンバーの意見を理解している
61. 相槌や共感等により、メンバーに話しやすい状況を作っている
62. 先入観や思い込みをせずに、メンバーの背景や事情を理解している
63. 自分の意見を持ちながら、メンバーの意見も共感を持って受けいれている

64. なぜそのように考えるのか、メンバーの気持ちになって理解している
65. 立場の異なるメンバーの背景や事情を理解している
66. 周囲や期待されている自分の役割を把握して、行動している
67. 自分にできることと他のメンバーができることを判断して行動している
68. 周囲の人間関係や忙しさを把握し、状況に配慮した行動を取っている

69. メンバーに迷惑をかけないように、ルールや約束マナーを理解している
70. メンバーに迷惑をかけたとき、適切な事後の対応をしている
71. 規律や礼儀が求められる場面では、礼節を守ったふるまいをしている
72. グループでの取り組みでストレスを感じる時、その原因について考える
73. 人に相談したり、支援を受けたりして、ストレスを緩和している

74. ストレスを感じても、考え方を切り替え、コントロールしている
75. 以前よりも、海外を身近に感じるようになった
76. 多文化や異文化に関する知識の体系的な理解が深まった
77. 以前よりも、群馬を身近に感じるようになった

卒業、本当におめでとう！
いつでも母校に遊びに戻ってきてくださいね

アンケートにご協力、ありがとうございました！

